注3

大学番号:239

[平成28年度設置]

計画の区分: 学部の設置

注1



関西福祉科学大学 心理科学部 心理科学科 ^{注2}

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人玉手山学園 平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 運営企画室

_{ナガイ} ヨウィチ 職名・氏名 室長 永井 洋一

電話番号 072-978-0088

(夜間) 072-942-0153

F A X 072-978-0377

e —mail ynagai@tamateyama.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

- ()書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

• 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・ 短期大学の学科の設置の場合: 「○○短期大学 △△学科」

• 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

• 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出 について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

心理科学部

< 1)理科学科>	^ °−	·ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	12
4.	AC対象学部等を含む大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1 4
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	16
6.	留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	35
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	36
8.	別紙資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人玉手山学園

- (2) 大 学 名 関西福祉科学大学
- (3) 大学の位置

〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(エバタ ゲンジ) 江端 源治 (平成15年4月1日)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学 長	(ハッタ タケシ) 八田 武志 (平成26年4月1日)		
学 部 長	(ヤマダ フミオ) 山田 冨美雄 (平成28年4月1日)		
学科長等		(ヤマダ フミオ) 山田 冨美雄 (平成28年4月1日)	変更理由:学科運営を円滑に行うため、学部長が学科長を兼務する。 変更年月日:平成28年4月1日(28)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成29年度に報告済の内容 → (29) 平成30年度に報告する内容 → (30)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称,定員,入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 - 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合 には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時		備考	
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1
心理科学部 心理科学科 学士(心理科学)	文学関係	4	110	年次 人 3年次 10	460	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	平成2	8年度	平成2	9年度	平成3	0年度	平成3	1年度	平均入学定員	備	考
区分	7	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	VHI	~ -
		人 1	10	人 11	人 10	人 1	人 10		Y			
Α	入学定員	(0)	(0)	(1	0)	()			
		[0]	[0]	[0]	[]			
		209		159		183						
ī	志願者数	(0)	(—)	(0)	(—)	(12)	()	()	()			
		[0]	[-]	[0]	[-]	[0]	[]	[]	[]			
		208		154		177						
ě	受験者数	(0)	(—)	(0)	(—)	(12)	()	()	()	0. 82		
		[0]	[-]	[0]	[—]	[0]	[]	[]	[]	0.02		
		197		148		169						
1	合格者数	(0)	(—)	(0)	(—)	(11)	()	()	()			
		[0]	[-]	[0]	[—]	[0]	[]	[]	[]			
	- M + M	104		85		82	, ,	, ,	, ,			
В	入学者数	(0)	(—)	(0)	(—)	(11)	()	()	()			
7 .334		[0]	L — J	[0]	L — J	[0]						
人字	产定員超過率 B/A	0.	94	0.	77	0.	77					

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	8年度	平成2	9 年度	平成3	0年度	平成3	1 年度		
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学		
		104	_	85	0	82	0			・平成29年度2年次生には 他学部からの転学部生1名	
	1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[] 含む (29) ・平成30年度2年次生には	_
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			他学部からの転学部生1名 含む (30)	
	0 /5 /5			100	0	85	0		_	・平成30年度3年次生には	
	2年次			[-]	[-]	[-]	[-]	()	L] 編入学生11名、他学部から の転学部生1名を含む(30	
		/		, ,		104	0	,	,	<u>′ </u>	
	3年次					[-]	[-]	[]	[]	
						(-)	(-)	()	())	
	4 年次							[]	[]	
								()	()	
	-1	10	04	18	35	2		-	-		
	計	L -	-]	L -	-]	L -	-]	L]		
		(-	-)	(-	-)	(-	-)	()		

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・() 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(h)	退学者数(a)		内訳		主な退学理由
対象年度	11300		入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	
平成28年度	104 人	5 人	平成28年度	5 人	0 人	就学意欲の低下(3人)、学生個人の心身に関する事情(1 人)、経済事情(1人)
平成29年度	185 人	8 人	平成28年度	7人	0 人	就学意欲の低下(4人)、学力不足(1人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、除籍(1人)
十,以29千及	165 🔨	٠ ٨	平成29年度	1人	0人	就学意欲の低下(1人)
			平成28年度	0 人	0人	-
平成30年度	271 人	0 人	平成29年度	0 人	0人	-
			平成30年度	0 人	0人	-
			平成28年度	人	人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
一十八〇十十八〇	^	^	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
合 計	560 人	13 人				

- (注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】 平成28年度の退学者数(a) % - = -4.8 平成28年度の在学者数(b) 【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) 4.32 % 平成29年度の在学者数(b) 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) % 271 平成30年度の在学者数(b) 【平成31年度】 平成31年度の退学者数(a) _ = _ % 平成31年度の在学者数(b)

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理科学部 心理科学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

		配	È	単位数		専	任教	E教員等の配置			兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
四刀		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	基礎ゼミナール I	1前	2	1/\	Ш	1	18	ılı	33	7	兼6
基礎		1後	2			1					兼6
教		2前	2			5	1	1			2014-
養	基礎ゼミナールIV	2後	2			6	1				
	総合教養 I -河内学-	1前		2		2					兼7
総	60 A M M T = 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1後		2		3		1			兼4
合教		1前		2							兼14
養	総合教養IV-栄養-	1後		2							兼14
	英語コミュニケーションI	1前	2								兼3
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2								兼3
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2								兼3
	英語コミュニケーションIV	2後	2								兼3
	総合英語I	1前	_	2							兼1
	総合英語Ⅱ	1後		2							兼1
言	※会本拓Ⅲ	2前		2							兼1
語	総合英語IV	2後		2							兼1
	オーラルコミュニケーション	1前		2							兼1
	フランス語 I	1前		2							兼1
	フランス語Ⅱ	1後		2							兼1
	中国語I	1前		2							兼1
	中国語Ⅱ	1後		2							兼1
情	情報処理学I	1前	1	-							兼3
報と	情報処理学Ⅱ	1後	1								兼3
伝		2前	1	2							兼1
達		1前		2							兼1
ポーツラ		1前・後		1							兼2
基	地理学	1後		2							兼1
左	化学入門	1前		1							兼1
分 占	++ +44 90 334	1前		1							兼1
FF 自 然		1前		1							兼1
と科		1後		1							兼1
学		1前		2							兼2
	生命科学概論	1前		2							兼2
	統計学	1後		1							兼1
-	哲学	1前		2							兼1
	人間学	1後		2							兼1
	倫理学	1後		2							兼1
	心理学	1前		2			1				AK.
	法学	1前		2			1				兼1
	日本国憲法	1後		2							兼
	人権教育	1前		2		-					兼
	経済学	1前		2							兼
人	wif- 3/Ls 2016	1前		2		-					兼
間と		1份		2							兼
社	国際朋任於	1後		2							兼1
会	現代史	1後		2							兼1
	外国史	1仮		2							兼1
	日本史	1制		2						-	兼1
	ローチ史 外国語で親しむ心理学	2前		2							兼1
	外国語で親しむ心理字 社会福祉概論	.		2							兼1
	人間関係論	1前 2前		2							兼1
	人間関係論 レクリエーション論	.		2							
		2前		2							兼
- 4	疲労とストレスの科学	4前	,			-			-		兼
教育		2前	1			,			-		兼1
専	1	3後	1	_	-	1	-	-			-
門	11 0 12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2後	_	2	-	1	-	-			- AL
基礎		3後	2	_		_					兼1
科	1H 11 122 3 194 mm	3前		2		1					
目	対人関係論	2後		2							兼]

【平成30年度】

			配 単位数			専任教員等の配置				置	兼任	
	日分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
_			次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	##	基礎ゼミナール I	1前	2				2				兼21
	基礎	基礎ゼミナールⅡ	1後	2				2				兼21
	教	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			5	1	1			
	養	基礎ゼミナールIV	2後	2			6	1				
	6A)	総合教養 I -河内学-	1前		2		2					兼7
	総合	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後		2		3		1			兼4
	教	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前		2							兼15
	養	総合教養IV-栄養-	1後		2							兼14
		英語コミュニケーションI	1前	2								兼9
		英語コミュニケーションⅡ	1後	2								兼9
		英語コミュニケーションⅢ	2前	2								兼8
		英語コミュニケーションIV	2後	2								兼8
		総合英語I	1前		2							兼1
		総合英語Ⅱ	1後		2							兼1
	言語	総合英語Ⅲ	2前		2							兼1
	PП	総合英語IV	2後		2							兼1
		オーラルコミュニケーション	1前		2							兼1
		フランス語 I	1前		2							兼1
		フランス語Ⅱ	1後		2							兼1
		中国語I	1前		2							兼1
		中国語Ⅱ	1後		2							兼1
	情都	情報処理学I	1前	1								兼3
	報と	情報処理学Ⅱ	1後	1								兼3
	伝達	コンピュータサイエンス	2前		2							兼1
	ポポー	保健体育	1前		2							兼1
	リルとス	体育実技	1後		1							兼2
基		地理学	1後		2							兼1
礎分		化学入門	1前		1							兼1
万野	自	基礎数学	1前		1							兼1
	然	生物学入門	1前		1							兼1
	と科	物理学入門	1後		1							兼1
	学	基礎科学概論	1前		2							兼2
		生命科学概論	1前		2							兼2
		統計学	1後		1							兼1
		哲学	1前		2							兼1
		人間学	1後		2							兼1
		倫理学	1後		2							兼1
		心理学	1前		2			1				
		法学	1前		2							兼1
		日本国憲法	1後		2							兼1
		人権教育	1前		2							兼1
		経済学	1前		2							兼1
	人	政治学	1前		2							兼1
	間と	社会学	1後		2							兼1
	社	国際関係論	1後		2							兼1
	会	現代史	1後		2							兼1
		外国史	1前		2							兼1
		日本史	1後		2							兼1
		外国語で親しむ心理学	2前		2				1			
		社会福祉概論	1前		2							兼1
		人間関係論	2前		2							兼1
		レクリエーション論	2前		2							兼1
		疲労とストレスの科学	4前		2							兼1
	中数ヤ	キャリアデザイン	2前	1								兼8
	教育ア	心理の現場と症例理解	3後	1			1					l
H	専	人体の構造と機能及び疾病	2後		2		1					
	門基	福祉心理学	3後	2								兼1
	礎	精神疾患とその治療	3前		2		1					
	科目	対人関係論	2後		2							兼1
	ш							1				

科目		配当		单位数					の酉		兼任
科日 区分	授業科目の名称	年	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	章 肢体不自由者の心理、生理・病理	2後		2							兼1
	広汎性発達障害総論	3前		2							兼1
	· 特異的発達障害総論	3前		2							兼1
	医学一般 I	1後		2		1					
	社会福祉原論 I	3前		2							兼1
	社会福祉原論Ⅱ	3後		2							兼1
	地域福祉論	2後		2							兼:
	コミュニティワーク	3前		2							兼:
	社会保障論 I	3前		2							兼:
	社会保障論Ⅱ	3後		2							兼:
	公的扶助論	3後		2							兼:
	社会福祉行財政論	3前		2							兼:
	医療ソーシャルワーク	2後		2							兼:
明	権利擁護と成年後見制度	3後		2							兼:
重	障害者福祉論 I	3前		2							兼:
斗	精神医学 I	2前		2		1					
ョ 精	精神医学Ⅱ	2後		2		1					-34
神	that i make we	3前		2							兼
保健		3後		2							兼
福	正五 田 正 及 切 及 内 和 四 国	1前		2							兼
社士		1後		2							兼
科	with M II . 18 II TO NO. 18 II			2							
目	精神科リハビリテーション学Ⅱ	2前 2後		2							兼兼
	精神保健福祉援助技術各論I	2前		2							兼
	精神保健福祉援助技術各論 II	2後		2							兼
	精神保健福祉に関する制度とサービス I	2前		2							兼
	精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	2後		2							兼
	精神障害者の生活支援システム	2前		2							兼
	精神保健福祉援助演習(基礎)	2前		2				1			AIV.
	精神保健福祉援助演習(専門) I	2後		2				1			
	精神保健福祉援助演習(専門) II	3後		2				1			
	精神保健福祉援助実習指導I	2前		2				1			
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2後		2				1			
_	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	3前		2				1			
専門共	精神保健福祉援助実習指導IV	3後		1				1			
通	精神保健福祉援助実習	3通		4				1			
	医療心理学	4後		2				1			
推	· 障害児(者)心理学	2前		2		1					
料	型心理療法論Ⅱ	4前		2		1					
B	コ 心理臨床とイメージ	3後		2		1					
	心理臨床と面接	3後		2		1					
現	コミュニティ心理学	3前		2		1					
代	産業・組織心理学	3後		2		1					
心理	消費者心理学	4前		2		1					
1	神経心理学	3前		2							兼:
」 ス	at many 3, many 337	2前		2							兼
推奨		3後		2		1					
科	. 比較行動学	2後		2		1					L
目	マスメディア心理学	4後		2	L	1	L	L			L
	カウンセリング論	2前		2				1			
	学習心理学	2前		2							兼
	家族心理学	3後		2		1					
	学校心理学	2後		2			1				
	環境心理学	3前		2		1					
	教育心理学	3後		2		1					
	健康心理学	2前	2			1					
	健康とスポーツの心理学	3後		2		1					
	行動分析学	3前		2				1			
	高齢者心理学	4後		2							兼
	児童心理学	2後		2			1				
	社会心理学	1後	2			1					
	人格(性格)心理学	1前	2			1					
專	心身関係論	3後		2		1					
丏	心理アセスメント実習I	3前	1			1		1			
計 目	心理アセスメント実習Ⅱ	3後	1			1	1				
	心理学外書講読	3後		2							兼]
	心理学概論	1後	2			1			1		

専門共通科目		授業科目の名称	当年次 2後 3前 3後 3前 3前 3前 3後 3前 3後 3前 2後 3前 3後 3前 2後 3前 2後 3前 2後 36 3前 2時	必 修	選	自由	1	准教授	講師	助教	助手	任・兼担 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 #1
専門共通科目	精神保健福祉	広汎性発達障害総論 特異的発達障害総論 医学一般 I 社会福祉原論 I 地域福祉論 コミュニティワーク 社会保障論 I 社会保障論 I 社会福祉行財政論 医療ソーシャルワーク 権利擁護と成年後見制度 障害者福祉論 I 精神医学 I 精神医学 I	2後 3前 1後 3前 3後 2後 3前 3前 3後 3前 3後 3前 3後 3前 3後 3前 3後 3前 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36	<u>修</u>	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	<u></u>			師	教	手	#1 #1 #1 #1 #1 #1 #1
専門共通科目	精神保健福祉	広汎性発達障害総論 特異的発達障害総論 医学一般 I 社会福祉原論 I 地域福祉論 コミュニティワーク 社会保障論 I 社会保障論 I 社会福祉行財政論 医療ソーシャルワーク 権利擁護と成年後見制度 障害者福祉論 I 精神医学 I 精神医学 I	3前 3後 1後 3前 3後 3前 3後 3後 3後 3後 3後 3後 3後 3後 3後 3後 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
専門共通科目	^{速料} 精神保健福祉	特異的発達障害総論 医学一般 I 社会福祉原論 I 社会福祉原論 I 地域福祉論 コミュニティワーク 社会保障論 I 社会保障論 I 社会保障論 I 社会保障論 I を訪けり取論 と療ソーシャルワーク 権利擁護と成年後見制度 障害者福祉論 I 精神医学 I 精神医学 I	3後 1後 3前 3後 2後 3前 36 3後 3後 3後 36 3前 2後 3前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
門共通科目	精神保健福祉	医学一般 I 社会福祉原論 I 社会福祉原論 I 地域福祉論 コミュニティワーク 社会保障論 I 社会保障論 I 社会保障論 I 社会保障論 I を訪け、 を関係を持ちます。 を変ソーシャルワーク 権利擁護と成年後見制度 障害者福祉論 I 精神医学 I 精神医学 I	1後 3前 3後 2後 3前 36 3後 3後 36 36 36 36 36		2 2 2 2 2 2 2 2 2		1					兼1 兼1 兼1 兼1
門共通科目	神保健福祉	社会福祉原論 I 社会福祉原論 I 地域福祉論 コミュニティワーク 社会保障論 I 社会保障論 I 公的扶助論 社会福祉行財政論 医療ソーシャルワーク 権利擁護と成年後見制度 障害者福祉論 I 精神医学 I	3前 3後 2後 3前 3前 3後 3後 3前 2後 3前		2 2 2 2 2 2 2 2							兼1 兼1 兼1 兼1
門共通科目	神保健福祉	社会福祉原論 I 地域福祉論 コミュニティワーク 社会保障論 I 社会保障論 I 社会保障論 I 社会保障論 I	3後 2後 3前 3前 3後 3後 3前 2後 3前		2 2 2 2 2 2							兼1 兼1 兼1 兼1
門共通科目	神保健福祉	地域福祉論 コミュニティワーク 社会保障論 I 社会保障論 I 社会保障論 I 社会保障論 I との技師 社会福祉行財政論 医療ソーシャルワーク 権利擁護と成年後見制度 障害者福祉論 I 精神医学 I 精神医学 I	2後 3前 3前 3後 3後 3前 2後 3前		2 2 2 2 2							兼1 兼1 兼1
門共通科目	神保健福祉	コミュニティワーク 社会保障論 I 社会保障論 I 社会保障論 II 公的扶助論 社会福祉行財政論 医療ソーシャルワーク 権利擁護と成年後見制度 障害者福祉論 I 精神医学 I 精神医学 I	3前 3前 3後 3後 3前 2後 3前		2 2 2 2							兼1 兼1
門共通科目	神保健福祉	社会保障論 I 社会保障論 II 公的扶助論 社会福祉行財政論 医療ソーシャルワーク 権利擁護と成年後見制度 障害者福祉論 I 精神医学 I 精神医学 I	3前 3後 3後 3前 2後 3前		2							兼1 兼1
門共通科目	神保健福祉	社会保障論Ⅱ 公的扶助論 社会福祉行財政論 医療ソーシャルワーク 権利擁護と成年後見制度 障害者福祉論Ⅰ 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ	3後 3後 3前 2後 3後 3前		2							兼1
門共通科目	神保健福祉	社会福祉行財政論 医療ソーシャルワーク 権利擁護と成年後見制度 障害者福祉論 I 精神医学 I 精神医学 I	3前 2後 3後 3前		_							兼1
門共通科目	神保健福祉	医療ソーシャルワーク 権利擁護と成年後見制度 障害者福祉論 I 精神医学 I 精神医学 I	2後 3後 3前		2					Ì		NV1
門共通科目	神保健福祉	権利擁護と成年後見制度 障害者福祉論 I 精神医学 I 精神医学 I	3後3前									兼1
門共通科目	神保健福祉	障害者福祉論 I 精神医学 I 精神医学Ⅲ	3前		2							兼1
共通科目	神保健福祉	精神医学 I 精神医学Ⅱ			2							兼1
科目	神保健福祉	精神医学Ⅱ	2前		2							兼1
目	神保健福祉				2		1					
	神保健福祉		2後		2		1					
	健福祉	精神保健学I	3前		2							兼1
	福祉	精神保健学Ⅱ	3後		2							兼1
	祉	社会福祉援助技術総論 I	1前		2							兼1
		社会福祉援助技術総論Ⅱ	1後		2							兼1
	科	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	2後		2							兼1
	目	精神科リハビリテーション学I	2前		2							兼1
		精神科リハビリテーション学Ⅱ 精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	2後 2前		2							兼1
		精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	2後		2			1				水1
		精神保健福祉に関する制度とサービスI	2前		2			-				兼1
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	2後		2							兼1
		精神障害者の生活支援システム	2前		2							兼1
		精神保健福祉援助演習(基礎)	2前		2			1				
		精神保健福祉援助演習(専門) I	2後		2			1				
		精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ	3後		2			1				
		精神保健福祉援助実習指導I	2前		2			1				
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2後		2			1				
専		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	3前		2			1				
科目共通		精神保健福祉援助実習指導IV	3後		1			1				
Æ		精神保健福祉援助実習	3通		4			1				
	E66	医療心理学	4後		2				1			
	推奨	障害者・障害児心理学	2前		2		1					
	契科 ヨー	心理療法論Ⅱ	4前		2		1					
		心理臨床とイメージ	3後		2		1					
-	10	心理臨床と面接 コミュニティ心理学	3後		2		1					
	現代	産業・組織心理学	3前		2		1					
	心	消費者心理学	4前		2		1					
	理コ-	神経心理学	3前		2							兼1
	ース	神経・生理心理学	2前		2			l		l		兼1
	推	調査方法論	3後		2		1					
	奨科	比較行動学	2後		2		1					
	目	マスメディア心理学	4後	L	2		1					
		心理学的支援法	2前		2				1			
		学習・言語心理学	2前		2							兼1
		家族心理学	3後		2		1					
		学校心理学	2後		2			1				
		環境心理学	3後		2		1					
		教育・学校心理学	3後		2		1					
		健康・医療心理学	2前	2	_		1					
		健康とスポーツの心理学	3後		2		1		,			
		行動分析学 喜齢者心理学	3前		2				1			並1
		高齢者心理学 児童心理学	4後 2後		2			1				兼1
		元重心理子 社会・集団・家族心理学	2後	2	۷		1	-				
		感情・人格心理学	1前	2			1					
		心身関係論	3後		2		1					
		心理的アセスメントⅠ	3前	1				1	1			
専		心理的アセスメントⅡ	3後	1			2	<u> </u>				
門		心理学外書講読	3後		2			1				
科目		心理学概論	1前	2			1		_	-	\vdash	-

	_		配	È	单位数	数	専	任教	員等	の画	置	兼任
科 [区 2		授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
		心理学基礎実験実習I	2前	1				1				兼2
		心理学基礎実験実習Ⅱ	2後	1				1				兼2
	ース	心理学研究法 I	1前	2			1					
	共	心理学研究法Ⅱ	2後		2		1					
	通科	心理学史	4後		2		1					
	目	心理学実践領域実習 I	2後	1			1		1			
		心理学実践領域実習Ⅱ	3前	1			1	1				
		心理統計法 I	1後	2			1					
		心理統計法Ⅱ	2前	2				1				
		心理療法論 I	3後	2			1					
		ストレスマネジメント論	4前		2		1					
		精神分析学	3前		2		1					
		青年心理学	3前		2		1					
		中高年の臨床心理	4前		2		1					
		乳幼児心理学	2前		2		1					
		認知心理学	1後		2			1				
		発達心理学	1前	2			1					
		発達臨床心理学	2前		2		1					
		犯罪心理学	4前		2		1					
		ポジティブ心理学	3前	2			1					
		臨床心理学	1前	2			1					
		研究演習 I	3前	2			10	2	2			
		研究演習Ⅱ	3後	2			10	2	2			
		研究演習Ⅲ	4前	2			10	2	2			
		研究演習Ⅳ	4後	2			10	2	2			

-		配	単	单位数	数	専	任教	員等	の酉	置	兼 任
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	心理学実験 [2前	1			1	1				兼2
	心理学実験Ⅱ	2後	1			1	1				兼2
1	心理学研究法 I	1後	2			1					
1	心理学研究法Ⅱ	2後		2		1					
ス共	心理学史	4後		2		1					
通	心理演習I	2後	1			5	2	2			
科目	心理演習Ⅱ	3前	1			1		1			
	心理学統計法 I	1前	2			1					
	心理学統計法Ⅱ	2前	2				1				
	心理療法論 I	3後	2			1					
	ストレスマネジメント論	4前		2		1					
	精神分析学	3前		2		1					
	青年心理学	3前		2		1					
	中高年の臨床心理	4前		2		1					
	乳幼児心理学	2前		2		1					
	知覚・認知心理学	1後		2			1				
	発達心理学	1後	2			1					
	発達臨床心理学	2前		2		1					
	司法・犯罪心理学	4前		2		1					
	ポジティブ心理学	3前	2			1					
	臨床心理学概論	1前	2			1					
	研究演習I	3前	2			10	2	1			
	研究演習Ⅱ	3後	2			10	2	1			
	研究演習Ⅲ	4前	2			10	2	1			
	研究演習IV	4後	2			10	2	1			
	公認心理師の職責	1後		2		1					
	関係行政論	3前		2							
	心理実習	3通		2		5	2	2			

【平成28年度】

			配	È	单位数	数	専	任教	員等	の酉	置	兼任
科区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	· ·
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	基	基礎ゼミナール I	1前	2			1		1			兼21
	基礎	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			1		1			兼21
	教養	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			5		2			
	突	基礎ゼミナールIV	2後	2			6	1				
	総	総合教養 I -河内学-	1前		2		2					兼7
	合	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後		2		3		1			兼4
	教養	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前		2							兼15
	ĸ	総合教養IV-栄養-	1後		2							兼14
		英語コミュニケーション I	1前	2								兼9
		英語コミュニケーションⅡ	1後	2								兼9
		英語コミュニケーションⅢ	2前	2								兼3
		英語コミュニケーションIV	2後	2								兼3
		総合英語 I	1前		2							兼1
	_	総合英語Ⅱ	1後		2							兼1
	言語	総合英語Ⅲ	2前		2							兼1
		総合英語IV	2後		2							兼1
		オーラルコミュニケーション	1前		2							兼1
		フランス語 I	1前		2							兼1
		フランス語Ⅱ	1後		2							兼1
		中国語 I	1前		2							兼1
		中国語Ⅱ	1後		2							兼1
	情報	情報処理学 I	1前	1								兼3
	٤	情報処理学Ⅱ	1後	1								兼3
	伝達	コンピュータサイエンス	2前		2							兼1
	が歴	保健体育	1前		2							兼1
	シス	体育実技	1後		1							兼2
基		地理学	1後		2							兼1
礎分		化学入門	1前		1							兼1
野	自	基礎数学	1前		1							兼1
	然と	生物学入門	1前		1							兼1
	科	物理学入門	1後		1							兼1
	学	基礎科学概論	1前		2							兼2
		生命科学概論	1前		2							兼2
		統計学	1後		1							兼1

【平成29年度】

			配	肖	单位数	敜	専	迁教	員等	の画	置	兼 任
科区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
2	/,		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	++	基礎ゼミナール I	1前	2	1/1			ı.x	1			兼21
	基礎	基礎ゼミナールⅡ	1後	2					1			兼21
	教	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			5		2			
	養	基礎ゼミナールIV	2後	2			6	1				
	4/4	総合教養 I -河内学-	1前		2		2					兼7
	総合	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後		2		3		1			兼4
	教養	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前		2							兼15
	突	総合教養IV-栄養-	1後		2							兼14
		英語コミュニケーション I	1前	2								兼9
		英語コミュニケーションⅡ	1後	2								兼9
		英語コミュニケーションⅢ	2前	2								兼9
		英語コミュニケーションIV	2後	2								兼9
		総合英語 I	1前		2							兼1
	_	総合英語Ⅱ	1後		2							兼1
	言語	総合英語Ⅲ	2前		2							兼1
		総合英語IV	2後		2							兼1
		オーラルコミュニケーション	1前		2							兼1
		フランス語 I	1前		2							兼1
		フランス語Ⅱ	1後		2							兼1
		中国語I	1前		2							兼1
		中国語Ⅱ	1後		2							兼1
	情報	情報処理学I	1前	1								兼3
	と伝	情報処理学Ⅱ	1後	1								兼3
	達	コンピュータサイエンス	2前		2							兼1
	が原	保健体育	1前		2							兼1
	ッとス	体育実技	1後		1							兼2
基		地理学	1後		2							兼1
礎分		化学入門	1前		1							兼1
野		基礎数学	1前		1							兼1
	然と	生物学入門	1前		1							兼1
	科	物理学入門	1後		1							兼1
	学	基礎科学概論	1前		2							兼2
		生命科学概論	1前		2							兼2
		統計学	1後		1							兼1

٠.			配	Ě	单位	数	専	任教	員等	の酉	置	兼任
科区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	-
_			次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		哲学	1前	12	2		^		ни	-32		兼
		人間学	1後		2							兼
		倫理学	1後		2							兼
		心理学	1前		2			1				
		法学	1前		2							兼
		日本国憲法	1後		2							兼
		人権教育	1前		2							兼
		経済学	1前		2							兼
	人品	政治学	1前		2							兼
	間と	社会学	1後		2							兼
	社	国際関係論	1後		2							兼
	숲	現代史	1後		2							兼
		外国史	1前		2							兼
		日本史	1後		2							兼
		外国語で親しむ心理学	2前		2				1			
		社会福祉概論	1前		2				-			兼
		人間関係論	2前		2							兼
		レクリエーション論	2前		2							兼
		疲労とストレスの科学	4前		2							兼
	中	キャリアデザイン	2前	1	Ľ.							兼
	教育ア	心理の現場と症例理解	3後	1			1					115
	専	医学概論	2後	1	2		1					
	門	社会福祉学	3後	0	- 4		1					34
	基礎			2	0		1					兼
	科	精神医学概論	3前		2		1					-34
	目魔	対人関係論 肢体不自由者の心理、生理・病理	2後		2							兼
	25		2後		2							兼
	日関連		3前		2							兼
	科	特異的発達障害総論	3前		2		_					兼
		医学一般 I	1後		2		1					
		社会福祉原論 I	3前		2							兼
		社会福祉原論Ⅱ	3後		2							兼
		地域福祉論	2後		2							兼
		コミュニティワーク	3前		2							兼
		社会保障論 I	3前		2							兼
		社会保障論Ⅱ	3後		2							兼
		公的扶助論	3後		2							兼
		社会福祉行財政論	3前		2							兼
		医療ソーシャルワーク	2後		2							兼
専門		権利擁護と成年後見制度	3後		2							兼
共		障害者福祉論 [3前		2							兼
通科		精神医学I	2前		2		1					
Ħ		精神医学Ⅱ	2後		2		1					
	精神	精神保健学 I	3前		2							兼
	保	精神保健学Ⅱ	3後		2							兼
	健福	社会福祉援助技術総論 I	1前		2							兼
	祉	社会福祉援助技術総論Ⅱ	1後		2							兼
	士科	精神保健福祉相談援助の基盤 (専門)	2後		2							兼
	目	精神科リハビリテーション学I	2前		2							兼
		精神科リハビリテーション学Ⅱ	2後	Ĺ	2	L	L	L	Ĺ	L		兼
		精神保健福祉援助技術各論 I	2前		2							兼
		精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	2後		2							兼
		精神保健福祉に関する制度とサービスI	2前		2							兼
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	2後		2							兼
		精神障害者の生活支援システム	2前		2							兼
		精神保健福祉援助演習(基礎)	2前		2				1			
		精神保健福祉援助演習(専門)I	2後		2				1			
		精神保健福祉援助演習(専門) I I	3後		2				1			
		精神保健福祉援助実習指導 I	2前		2				1			
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2後		2				1			
					2				1			
			3 🖽			—	-	—	<u> </u>	-	\vdash	!
		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	3前		1				1			
4門		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導Ⅳ	3後		1 4				1			
門共		精神保健福祉援助実習指導III 精神保健福祉援助実習指導IV 精神保健福祉援助実習	3後 3通		4				1			
判判	臨	精神保健福祉援助実習指導IV 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習 医療心理学	3後 3通 4後		4 2		1					
判判	推床	精神保健福祉援助実習指導III 精神保健福祉援助実習指導IV 精神保健福祉援助実習 医療心理学 障害児(者)心理学	3後 3通 4後 2前		4 2 2		1		1			
判判	** 床	精神保健福祉援助実習指導III 精神保健福祉援助実習指導IV 精神保健福祉援助実習 医療心理学 障害児(者)心理学	3後 3通 4後		4 2		1 1 1		1			

			配	Ĭ	单位数	数	専	 任教	員等	の画	己置	兼
科区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
22	/1		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		哲学	1前		2		ĥ		ь.	72		兼1
		人間学	1後		2							兼1
		倫理学	1後		2							兼1
		心理学	1前		2			1				
		法学	1前		2							兼1
		日本国憲法	1後		2							兼1
		人権教育	1前		2							兼1
	人	経済学	1前		2							兼1
	間と	政治学	1前		2							兼1
	社	社会学 国際関係論	1後		2							兼1
	숲	現代史	1後		2							兼1
		外国史	1前		2							兼1
		日本史	1後		2							兼1
		外国語で親しむ心理学	2前		2				1			-,
		社会福祉概論	1前		2							兼1
		人間関係論	2前		2							兼1
		レクリエーション論	2前		2							兼1
		疲労とストレスの科学	4前		2							兼1
	キャリ	キャリアデザイン	2前	1								兼10
	ア	心理の現場と症例理解	3後	1			1					
	専門	医学概論	2後		2		1					
	基	社会福祉学	3後	2								兼1
	礎科	精神医学概論	3前		2		1					
	目	対人関係論	2後		2							兼1
	障がいい	肢体不自由者の心理、生理・病理	2後		2							兼1
	日関連		3前		2							兼1
	科	特異的発達障害総論	3前		2							兼1
		医学一般 I	1後		2		1					26
		社会福祉原論 I	3前		2							兼1
		社会福祉原論Ⅱ	3後		2							兼1
		地域福祉論コミュニティワーク	2後		2							兼1
		社会保障論 I	3前		2							兼1
		社会保障論Ⅱ	3前		2							兼1
		公的扶助論	3後		2							兼1
		社会福祉行財政論	3前		2							兼1
		医療ソーシャルワーク	2後		2							兼1
専		権利擁護と成年後見制度	3後		2							兼1
判共		障害者福祉論 I	3前		2							兼1
Ã		精神医学I	2前		2		1					
科目		精神医学Ⅱ	2後		2		1					
	精加	精神保健学 I	3前		2							兼1
	神保	精神保健学Ⅱ	3後		2							兼1
	健	社会福祉援助技術総論 I	1前		2							兼1
	福祉	社会福祉援助技術総論Ⅱ	1後		2							兼1
	士科	精神保健福祉相談援助の基盤 (専門)	2後		2							兼1
	目	精神科リハビリテーション学 I	2前		2							兼1
		精神科リハビリテーション学Ⅱ	2後		2							兼1
		精神保健福祉援助技術各論 I	2前		2							兼1
		精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	2後		2			1				
		精神保健福祉に関する制度とサービスI	2前		2							兼1
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	2後		2							兼1
		精神障害者の生活支援システム	2前		2							兼1
		精神保健福祉援助演習(基礎)	2前		2			1				
		精神保健福祉援助演習(専門) I	2後		2			1				
		精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ ************************************	3後		2			1				
		精神保健福祉援助実習指導I	2前		2			1				
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 禁神保健福祉援助実習指導Ⅲ	2後		2	-		1		-		-
専門		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	3前		2	-		1		-		-
		精神保健福祉援助実習指導IV	3後		1	-		1		-		-
		精神保健福祉援助実習	3通		4	_		1	1	_		
共		尼弗と明 巻			2	ı		i	1	ı	1	
共通	臨	医療心理学	4後		-							
共通	推奨	障害児(者)心理学	2前		2		1					
1 共通	推床				-		1 1 1					

科区	コミュニティ心理学 確業・組織心理学 特費者心理学 神経心理学 生理心理学 性理の方法論 上 比較行動学	当年次 3前 36 4前 36 26 48 26 48 27 36 48 37 37 37 37 37 37 37 37 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47	必 修 2	選	自由	教 授 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	准教授	1 1	助 教 ———————————————————————————————————	助 手	(任・兼担
現代心理コース推奨科目	コミュニティ心理学 産業・組織心理学 特費者心理学 生理心理学 性理心理学 と世間を力法論 と較行動学 マスメディア心理学 カウンセリング論 学習心理学 家族心理学 学校心理学 環境心理学 健康心理学 健康心理学 健康心理学 健康心理学 健康心理学 健康心理学 とスポーツの心理学 行動分析学 高齢者心理学 児童心理学 とスポーツの心理学 人格(性格) 心理学	次 3前3後 4前3前 3後 2後 4後 2前3後 2 3前3後 2 3 1 3 1 3 1 4 2 8 1 1 3 1 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	<u></u>	1 1 1 1 1 1 1 1 1		1	<u>*************************************</u>		担
代心理コース推奨科目 専門科目	産業・組織心理学 「神経心理学 「神経心理学 生理心理学 」 と 生理心理学 」 と 大教子イア心理学 カウンセリング論 学習心理学 家族心理学 学校心理学 環境心理学 健康とスポーツの心理学 で動分析学 高齢者心理学 児童心理学 と、	3後 4前 36 2後 4後 2前 3後 2 3 3 4 2 6 3 6 3 6 3 6 3 6 3 6 3 6 3 6 8 3 6 8 3 6 8 3 6 8 6 8		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 1 1 1		1			兼1
代心理コース推奨科目 専門科目	産業・組織心理学 「神経心理学 「神経心理学 生理心理学 」 と 生理心理学 」 と 大教子イア心理学 カウンセリング論 学習心理学 家族心理学 学校心理学 環境心理学 健康とスポーツの心理学 行動分析学 高齢者心理学 児童心理学 と、	4前 3前 3後 2後 4後 2前 3後 2後 3前 3後 2的 3後 20 3 4 4 2 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 1 1					兼1
班コース推奨科目 専門科目 コ	理	4前 3前 3後 2後 4後 2前 3後 2後 3前 3後 2的 3後 20 3 4 4 2 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1					兼1
コース推奨科目 専門科目	神経心理学 生理心理学 と理心理学 と比較行動学 マスメディア心理学 カウンセリング論 学習心理学 家族心理学 学校心理学 環境心理学 健康心理学 健康心理学 健康とスポーツの心理学 行動分析学 高齢者心理学 児童心理学 児童心理学	2 mi 3 ck 2 ck 4 ck 2 mi 3 ck 2 ck 3 mi 3 ck 2 mi 3 ck 3 mi 4 ck 2 ck 1 ck 2 ck 1 ck 2 ck 2 mi 4 ck 2 ck 1 ck 2 ck 2 mi 4 ck 2 ck	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1					兼1
京門科目 京門科目 「中国・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・	生理心理学 調査方法論 比較行動学 マスメディア心理学 カウンセリング論 学習心理学 家族心理学 学校心理学 環境心理学 健康心理学 健康心理学 健康とスポーツの心理学 行動分析学 高齢者心理学 児童心理学 児童心理学	2 mi 3 ck 2 ck 4 ck 2 mi 3 ck 2 ck 3 mi 3 ck 2 mi 3 ck 3 mi 4 ck 2 ck 1 ck 2 ck 1 ck 2 ck 2 mi 4 ck 2 ck 1 ck 2 ck 2 mi 4 ck 2 ck	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1					兼1
事門科目	職査方法論 比較行動学 マスメディア心理学 カウンセリング論 学習心理学 家族心理学 環境心理学 健康心理学 健康とスポーツの心理学 行動分析学 高齢者心理学 児童心理学 社会心理学 人格(性格)心理学	3 (2 (2) (1)	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1					
	比較行動学	2後 4後 2前 3後 2後 3前 3後 2前 3後 2前 3後 2前 3後 2前 3後 2前 3後 2前 3後 2前 3後 26 36 26 36 26 36 36 26 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1					兼1
専門科目	マスメディア心理学 カウンセリング論 学習心理学 家族心理学 學校心理学 環境心理学 健康心理学 健康心理学 健康心理学 健康心理学 性康とスポーツの心理学 行動分析学 高齢者心理学 児童心理学 社会心理学	4 6 2 m 2 m 3 6 2 6 3 m 3 6 2 m 3 6 2 m 3 6 3 m 4 6 2 6 4 6 1 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1					兼1
門科目コ	カウンセリング論 学習心理学 家族心理学 学校心理学 環境心理学 健康心理学 健康とスポーツの心理学 行動分析学 高齢者心理学 児童心理学 社会心理学 人格(性格)心理学	2 mi 2 mi 3 to 2 to 3 to 3 to 4 to 4 to 4 to 4 to 4 to 4	2	2 2 2 2 2 2 2		1 1 1					兼1
門科目コ	学習心理学 家族心理学 学校心理学 環境心理学 被康心理学 健康心理学 健康とスポーツの心理学 行動分析学 高齢者心理学 児童心理学 社会心理学 人格(性格)心理学	2 mi 3 cm 3	2	2 2 2 2 2 2		1 1 1					兼1
門科目コ	家族心理学 学校心理学 環境心理学 教育心理学 健康心理学 健康とスポーツの心理学 行動分析学 高齢者心理学 児童心理学 社会心理学 人格(性格)心理学	3後 2後 3前 3後 2前 3後 3前 4後 2後 1後	2	2 2 2 2 2		1 1 1		1			
門科目コ	学校心理学 環境心理学 教育心理学 健康とスポーツの心理学 行動分析学 高齢者心理学 児童心理学 社会心理学 人格(性格)心理学	2後 3前 3後 2前 3後 3前 4後 2後 1後	2	2 2 2 2		1		1			
門科目コ	教育心理学 健康心理学 健康とスポーツの心理学 行動分析学 高齢者心理学 児童心理学 社会心理学 人格(性格)心理学	3後 2前 3後 3前 4後 2後 1後	2	2 2		1					
門科目コ	教育心理学 健康心理学 健康とスポーツの心理学 行動分析学 高齢者心理学 児童心理学 社会心理学 人格(性格)心理学	3後 2前 3後 3前 4後 2後 1後	2	2 2		1					
門科目コ	健康心理学 健康とスポーツの心理学 行動分析学 高齢者心理学 児童心理学 社会心理学 人格(性格)心理学	2前 3後 3前 4後 2後 1後	2	2		1					
門科目コ	健康とスポーツの心理学 行動分析学 高齢者心理学 児童心理学 社会心理学 人格(性格)心理学	3後 3前 4後 2後 1後		2							
門科目コ	行動分析学 高齢者心理学 児童心理学 社会心理学 人格(性格)心理学	3前 4後 2後 1後		2							
門科目コ	高齢者心理学 児童心理学 社会心理学 人格(性格)心理学	4後 2後 1後		2				1			
門科目コ	児童心理学 社会心理学 人格(性格)心理学	2後 1後									兼1
門科目コ	社会心理学 人格(性格)心理学	1後		2				1			7,14-
門科目コ	人格(性格)心理学	-	2			1					
門科目コ		1前	2			1					
門科目コ	C 21 IXI MANIN	3後	-	2		1					
科目ココ	心理アセスメント実習I	3前	1			1		1			
7	心理アセスメント実習Ⅱ	3後	1			1		1			
	心理学外書講読	3後	-	2		_	1	<u> </u>			
	心理学概論	1後	2			1	•				
	心理学基礎実験実習I	2前	1			_	1				兼2
		2後	1				1				兼2
	○ 用学研究法 I	1前	2			1	-				AIKE
カサ	`	2後	-	2		1					
通	○ 和 ⇔ 由	4後		2		1					
科目	r	2後	1			1		1			
	心理学実践領域実習Ⅱ	3前	1			1		1			
	心理統計法I	1後	2			1		-			
	心理統計法Ⅱ	2前	2			-	1				
	心理療法論I	3後	2			1	-				
	ストレスマネジメント論	4前	-	2		1					
	精神分析学	3前		2		1					
	青年心理学	3前		2		1					
	中高年の臨床心理	4前		2		1					
	乳幼児心理学	2前		2		1					
	認知心理学	1後		2		Ė	1				
	発達心理学	1前	2	Ť		1					
	発達臨床心理学	2前	Ť	2		1					
	犯罪心理学	4前		2		1					
	ポジティブ心理学	3前	2	Ť		1					
	臨床心理学	1前	2			1					
	研究演習I	3前	2			10	1	3			
	研究演習Ⅱ	3後	2	ļ		10	1	3			
		4前	2			10	1	3			
	研究演習Ⅲ	*109	2			10	1	3	—		i

野門科目 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日				配	È	单位	汝	専	任教	員等	の酉	置	兼任
現代			授業科目の名称		必	選	自	教		講	助	助	
現 一	-	/,			修	扣	ф	拇		紬	粉	垂	
代し、理学	F	現	コミュニティ心理学	3前	שנו		ш		12	рір	70		JE.
理由 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		代		3後		2		1					
#経心理学 2前 2 1 1			消費者心理学	4前		2		1					
# 世元と語論 3 後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		コ	神経心理学	3前		2							兼1
対対			生理心理学	2前		2							兼1
科 比較行動学 2後 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 2			調査方法論	3後		2		1					
日 マスメディア心理学 4後 2 1 1 1			比較行動学	2後		2		1					
学習心理学 2前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1			マスメディア心理学	4後		2		1					
下狭・理学 3後 2			カウンセリング論	2前		2				1			
専門科目 2後 2 1 1 1 2 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 2 1 </td <td></td> <td></td> <td>学習心理学</td> <td>2前</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>兼1</td>			学習心理学	2前		2							兼1
大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学			家族心理学	3後		2		1					
下のでは、			学校心理学	2後		2				1			
健康とスポーツの心理学 3後 2 1 1			環境心理学	3前		2		1					
Part						2							
特別			健康心理学	2前	2			1					
事所科目 4後 2 1 末1 股金心理学 社会心理学 社会心理学 人格(性格)心理学 16 2 1 1 1 人格(性格)心理学 心身関係論 心理アセスメント実習 I 36 2 1						2		1					
Pump			行動分析学	3前		2				1			
株会心理学			高齢者心理学	4後		2							兼1
大格 (性格) 心理学			児童心理学	2後		2				1			
専門科目 3後 2 1 </td <td></td> <td></td> <td>社会心理学</td> <td>1後</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>			社会心理学	1後	2			1					
専門科目 心理アセスメント実習Ⅱ 3前 1 1 1 1 心理アセスメント実習Ⅱ 3後 1 1 1 1 心理学外書講読 3後 2 1 1 1 心理学概論 1前 2 1 1 1 1 心理学概論 2前 1 1 1 1 1 素2 心理学基礎実験実習Ⅱ 2後 1 2 1 1 1 素2 1 1 1 1 素2 1 <t< td=""><td></td><td></td><td>人格(性格)心理学</td><td>1前</td><td>2</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>			人格(性格)心理学	1前	2			1					
門科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			心身関係論	3後		2		1					
中国			心理アセスメント実習I	3前	1			1		1			
 ○理学本講談 ○理学基礎実験実習 I ○直学基礎実験実習 I ○直学基礎実験実習 I ○直学基礎実験実習 I ○企理学研究法 I ○企理学支践領域実習 I ○企理学支践領域実習 I ○企理学支践領域実習 I ○企理学支践領域実習 I ○企理学支践領域実習 I ○企理经末計法 I ○企理統計法 I ○企理統計法 I ○企理統計法 I ○企理統計法 I ○企理統計法 I ○企理統計法 I ○企理核計法 I ○企理核計法 I ○企理核計法 I ○企理核計法 I ○企理核計法 I ○企理核計法 I ○企理核 I ○企理核 I ○企理核 I ○企理核 I ○企理核 I ○企业表示 I ○企业表示 I ○应理核 I ○应理核 I ○应理核 I ○应理核 I ○应理核 I ○应理核 I ○应证表 I<	科		心理アセスメント実習Ⅱ	3後	1			1		1			
 ○理学基礎実験実習Ⅱ ○世学等で決計Ⅱ ○理学研究法Ⅱ ○理学研究法Ⅱ ○理学研究法Ⅱ ○理学研究法Ⅱ ○理学研究法Ⅱ ○理学研究法Ⅱ ○理学来践領域実習Ⅱ ○理学来践領域実習Ⅱ ○理学来践領域実習Ⅱ ○理学来践領域実習Ⅱ ○理学来践領域実習Ⅱ ○理総計法Ⅱ ○理総計法Ⅱ ○理総計法Ⅱ ○理総計法Ⅱ ○理総計法Ⅱ ○理総計法Ⅱ ○理総計法Ⅱ ○理総計法Ⅱ ○理総計法Ⅱ ○担理を表別を通知 ○担じまり ○担じまり ○担じまり ○担じまり ○日本の理学 <li< td=""><td>Ħ</td><td></td><td>心理学外書講読</td><td>3後</td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></li<>	Ħ		心理学外書講読	3後		2			1				
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			心理学概論	1前	2			1					
1			心理学基礎実験実習I	2前	1			1	1				兼2
大型学研究法目 1後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1			心理学基礎実験実習Ⅱ	2後	1			1	1				兼2
世界 (中華 中部			心理学研究法 I	1後	2			1					
科 の理学実践領域実習 I 2後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			心理学研究法Ⅱ	2後		2		1					
日 心理学実践領域実習 I 2後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			心理学史	4後		2		1					
心理統計法 I 1前 2 1 心理統計法 I 2前 2 1 心理療法論 I 3後 2 1 ストレスマネジメント論 4前 2 1 精神分析学 3前 2 1 青年心理学 3前 2 1 中高年の臨床心理 4前 2 1 乳幼児心理学 2前 2 1 認知心理学 1後 2 1 発達<			心理学実践領域実習 I	2後	1			1		1			
心理統計法目 2前 1 心理療法論 I 3後 2 1 ストレスマネジメント論 4前 2 1 精神分析学 3前 2 1 青年心理学 3前 2 1 中高年の臨床心理 4前 2 1 乳幼児心理学 2前 2 1 影強心理学 1後 2 1 発達臨床心理学 2前 2 1 犯罪心理学 4前 2 1 邓野心理学 3前 2 1 臨床心理学 1前 2 1 研究演習 I 3前 2 10 2 研究演習 I 3後 2 10 2 2 研究演習 I 4前 2 10 2 2			心理学実践領域実習Ⅱ	3前	1			1		1			
心理療法論 I 3後 2 1 ストレスマネジメント論 4前 2 1 精神分析学 3前 2 1 青年心理学 3前 2 1 中高年の臨床心理 4前 2 1 乳幼児心理学 2 1 2 認知心理学 1後 2 1 発達配床心理学 2 1 2 犯罪心理学 4前 2 1 水ボジティブ心理学 3前 2 1 臨床心理学 1前 2 1 研究演習 I 3歳 2 10 2 研究演習 I 36 2 10 2 2 研究演習 II 4前 2 10 2 2			心理統計法I	1前	2			1					
ストレスマネジメント論 4前 2 1 精神分析学 3前 2 1 青年心理学 3前 2 1 中高年の臨床心理 4前 2 1 乳幼児心理学 2 1 2 認知心理学 1後 2 1 発達心理学 16 2 1 発達臨床心理学 2 1 2 犯罪心理学 4前 2 1 ボジティブ心理学 3前 2 1 臨床心理学 1前 2 1 研究演習 I 3後 2 10 2 研究演習 II 4前 2 10 2 2			心理統計法Ⅱ	2前	2				1				
精神分析学 3前 2 1 青年心理学 3前 2 1 中高年の臨床心理 4前 2 1 乳幼児心理学 2 1 2 認知心理学 1後 2 1 発達心理学 1後 2 1 発達臨床心理学 2 1 2 犯罪心理学 4前 2 1 ボジティブ心理学 3前 2 1 臨床心理学 1前 2 1 研究演習 I 3前 2 10 2 研究演習 I 3後 2 10 2 2 研究演習 II 4前 2 10 2 2			心理療法論 I	3後	2			1					
青年心理学 3前 2 1 中高年の臨床心理 4前 2 1 乳幼児心理学 1後 2 1 認知心理学 1後 2 1 発達心理学 2 1 発達臨床心理学 2 1 犯罪心理学 4前 2 1 北京ティブ心理学 3前 2 1 臨床心理学 1前 2 1 研究演習 I 3前 2 10 2 研究演習 I 3後 2 10 2 2 研究演習 II 4前 2 10 2 2			ストレスマネジメント論	4前		2		1					
中高年の臨床心理 4前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			精神分析学	3前		2		1					
乳幼児心理学 2前 1 認知心理学 1後 2 1 発達の理学 1後 2 1 発達臨床心理学 2前 2 1 犯罪心理学 4前 2 1 ボジティブ心理学 3前 2 1 臨床心理学 1前 2 1 研究演習 I 3前 2 10 2 研究演習 I 3後 2 10 2 2 研究演習 II 4前 2 10 2 2			青年心理学	3前		2		1					
認知心理学 1後 2 1 発達心理学 1後 2 1 発達臨床心理学 2n 2 1 犯罪心理学 4n 2 1 ボジティブ心理学 3n 2 1 臨床心理学 1n 2 1 研究演習 I 3n 2 10 2 研究演習 I 36 2 10 2 2 研究演習 II 4n 2 10 2 2			中高年の臨床心理	4前		2		1					
発達心理学 1後 2 1 発達臨床心理学 2前 2 1 犯罪心理学 4前 2 1 ボジティブ心理学 3前 2 1 臨床心理学 1前 2 1 研究演習 I 3前 2 10 2 研究演習 I 3後 2 10 2 2 研究演習 II 4前 2 10 2 2			乳幼児心理学	2前		2		1					
発達臨床心理学 2前 1 犯罪心理学 4前 2 1 ボジティブ心理学 3前 2 1 臨床心理学 1前 2 1 研究演習 I 3前 2 10 2 研究演習 I 3後 2 10 2 2 研究演習 II 4前 2 10 2 2			認知心理学	1後		2			1				
 犯罪心理学 4前 2 1 ボジティブ心理学 3前 2 1 臨床心理学 1前 2 1 研究演習 I 3前 2 10 2 2 研究演習 I 3後 2 10 2 2 研究演習 I 4前 2 10 2 2 			発達心理学	1後	2			1					
ボジティブ心理学 3前 2 1 臨床心理学 1前 2 1 研究演習 I 3前 2 10 2 研究演習 I 3後 2 10 2 2 研究演習 II 4前 2 10 2 2			発達臨床心理学	2前		2		1					
臨床心理学 1前 2 1 研究演習 I 3前 2 10 2 2 研究演習 I 3後 2 10 2 2 研究演習 II 4前 2 10 2 2			犯罪心理学	4前		2		1					
研究演習 I 3前 2 10 2 2 研究演習 I 3後 2 10 2 2 研究演習 II 4前 2 10 2 2			ポジティブ心理学	3前	2			1					
研究演習Ⅱ 3後 2 10 2 2 研究演習Ⅲ 4前 2 10 2 2			臨床心理学	1前	2			1					
研究演習Ⅲ 4前 2 10 2 2			研究演習I	3前	2			10	2	2			
			研究演習Ⅱ	3後	2			10	2	2			
研究演習IV 4後 2 10 2 2			研究演習Ⅲ	4前	2			10	2	2			
			研究演習IV	4後	2			10	2	2			

【平成28年度】

- ・全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールI、II」について担当教員を追加 (講師0→1、兼6→21)
 ・専任教員退職の理由により、「基礎ゼミナールII、II」について担当教員を変更 (准教授1→0、講師1→2)
 ・教育内容の充実を図るため、「総合教養III-健康の世界-」について担当教員を追加 (兼14→15)
 ・全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションI、II」について担当教員を追加 (兼3→9)
 ・時間割編成上の都合により、「体育実技」について1前・後期から後期のみ開講へ変更
 ・教育指導体制の充実及び見直しのため「外国語で親しむ心理学」について兼任教員を専任として新規採用 (兼1→0、講師0→1)
 ・東任教員思陳の理由により、「学校の理学」「日本の理学」「10 2017 は、2017 は 2017 は 2
- ・専任教員退職の理由により、「学校心理学」「児童心理学」「心理アセスメント実習Ⅱ」 「心理学実践領域実習Ⅱ」について担当教員を変更 (准教授1→0、 講師0→1)

【平成29年度】

- 授業運営体制の見直しに伴い「基礎ゼミナール I、 I」について担当教員を減員。現員で対応可能なため後任補充なし(教授1 \rightarrow 0) 全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションII、IV」について担当教員を追加(兼3 \rightarrow 9) 「キャリアデザイン」について、担当教員の就任辞退に伴い減員。現員で対応可能なため後任補充なし(兼11 \rightarrow 10)

【平成30年度】

- ・「基礎ゼミナールI、II」について、全学共通で授業を運営するため担当教員を追加、及び担当教員の昇任に伴う変更(講師1→0、准教授0→2)・「基礎ゼミナールII」について、担当教員の昇任に伴う変更(講師2→1、准教授0→1)・「英語コミュニケーションII、IV」について、全学共通で授業を運営するため、担当教員を減員。現員で対応可能なため後任補充なし(兼9→8)・「キャリアデザイン」について、全学共通で授業を運営するため、担当教員を減員。現員で対応可能なため後任補充なし(兼10→8)・「キャリアデザイン」について、公認心理師受験資格対応のため「人体の構造と機能及び疾病」へ名称変更・「社会福祉学」について、公認心理師受験資格対応のため「福祉心理学」へ名称変更・「精神医学概論」について、公認心理師受験資格対応のため「精神疾患とその治療」へ名称変更・「特異的発達障害総論」について、公認心理師受験資格対応のため「精神疾患とその治療」へ名称変更・「特異的発達障害総論」について、学修効果を高めるため履修順序を見直し、開講時期を3前から3後へ変更・「障害児(者)心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「障害者・障害児心理学」へ名称変更・「生理心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「神経・生理心理学」へ名称変更・「カウンセリン分論」について、公認心理師受験資格対応のため「学習・言語心理学」へ名称変更・「プロング論」について、公認心理師受験資格対応のため「学習・言語心理学」へ名称変更・「プロング論」について、公認心理師受験資格対応のため「学習・言語心理学」へ名称変更

- ・「学習心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「学習・言語心理学」へ名称変更
 ・「学習心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「学習・言語心理学」へ名称変更
 ・「学校心理学」「児童心理学」について、担当教員の昇任に伴う変更(講師1→0、准教授0→1)
 ・「環境心理学」について、学修効果を高めるため履修順序を見直し、開講時期を3前から3後へ変更
 ・「教育心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「教育・学校心理学」へ名称変更
 ・「健康心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「健康・医療心理学」へ名称変更

- ・「吐尿心理子」について、公認心理即又駅貝伶刃心切たの「健康・医療心理学」へ名称変更
 ・「社会心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「社会・集団・家族心理学」へ名称変更
 ・「人格(性格)心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「感情・人格心理学」へ名称変更
 ・「心理アセスメント実習 I」について、公認心理師受験資格対応のため「心理的アセスメント I」へ名称変更、及び教育指導上の教員配置見直しに伴う
 変更 (教授1→0、准教授0→1)
 ・「心理アセスメント実習 I」について、公認心理師受験資格対応のため「心理的アセスメント II」へ名称変更、及び教育指導上の教員配置見直しに伴う
 変更 (教授1→0、進節1→0)
- 変更 (教授I→2、講師I→0)

 ・「心理学基礎実験実習 I、II」について、公認心理師受験資格対応のため「心理学実験 I、II」へ名称変更

 ・「心理学実践領域実習 I」について、公認心理師受験資格対応のため「心理演習 I」へ名称変更、及び公認心理師演習実習担当教員要件に基づく変更
 (教授I→5、准教授0→2、講師I→2)

 ・「心理学実践領域実習 II」について、公認心理師受験資格対応のため「心理演習 II」へ名称変更

 ・「心理統計法 I、II」について、公認心理師受験資格対応のため「心理学就計法 I、II」へ名称変更

 ・「心理統計法 I、II」について、公認心理師受験資格対応のため「知覚・認知心理学」へ名称変更

 ・「認知心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「知覚・認知心理学」へ名称変更

 ・「犯罪心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「司法・犯罪心理学」へ名称変更

 ・「臨床心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「臨床心理学概論」へ名称変更

 ・「臨床心理学」について、公認心理師受験資格対応のため「臨床心理学概論」へ名称変更

 ・「研究演習 I、II、III、III」について、担当教員の昇任及び教育指導上の教員配置見直しに伴う変更。現員で対応可能なため後任補充なし

 ・「書師2→1)

- (新申申2:1:1, 「 ・「公認心理師の職責」「心理実習」について、公認心理師受験資格対応のため新規開設 ・「関係行政論」について、公認心理師受験資格対応のため新規開設。担当者未定のため、開講までに配置予定
- (注)・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画	ĒĮ.			翌	E更状況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	1用 行
34 科目	118 科目	科目	152 科目	34 科目 [0]	121 科目 [3]	科目	155 科目 [3]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

	区分				内				容			備考
(1)	区分		専	用	共	用		ț用する他の 単校等の専用		計		【共用する学校】 関西女子短期大学 (収容定員:700人/面積基準:
	校舎敷坩	<u>t</u>		0m²		44, 930㎡		2, 42	2m² 0m²		47, 352㎡ 4 4, 930㎡	7,000㎡) 関西福祉科学大学高等学校(収 容定員:1,410人/面積基準:
校	運動場用地	ļ		0m²		5, 976m²		8, 08	0m²		14, 056㎡	115, 480㎡) - 朗亚女子短期士党附层幼稚園
地	小 計	-		0m²		50, 906m²		10, 50 8, 08			61, 408㎡ 58, 986㎡	3, 160㎡) 学園総合体育館(別地)
等	その他	l		2, 160m²		33, 961 m²		2.42	0 m ²		36, 121 m ² 38, 543 m ²	
		-		2, 160m²		84, 867m²		10, 50			97, 529m²	・平成28年3月校地・校舎等の 変更届出済み(28)
			専	用	共	用		・用する他の		計		
(2) 校	舎			27, 636㎡ 27, 570㎡		5, 643 m²	,	8, 06	7m²		41, 346㎡ 41, 280㎡	【共用する学校】 関西女子短期大学 ・平成30年3月校地・校舎等の変更
				90㎡) 52㎡)	(5, 643 m ²)	(8, 713㎡) 8, 385㎡)		(41, 34 (41, 28	16m²) 30m²)	田出済み (30) ・平成28年3月校地・校舎等の変更 届出済み (28)
		講	義室	演習	留 室	実験実習	室	情報処理学習	『施設	語学学	習施設	
									3室		0室	大学全体
(3) 教	室 等		3 <mark>4室</mark> 32室 33室		30室		46室 41室 39室	(補助職員	3人 4人 7人)	(補助職員	(0人)	・講義室・実験実習室:講義室を 実験実験室に改修。短期大学使用 教室を大学実験実習室に改修 (29) ・補助職員:平成30年5月1日の雇 用実績に基づき変更 (30) ・補助職員:平成28年5月1日の雇 用実績に基づき変更 (28)
				新設学部等	等の名称			室		数		講師は2名で1室
(4) 専	任教員研究室		心	理科学部	心理科学	科		1 1 1	3		室	専任教員の昇任に伴い改修 (30)
	*C =0.224 *0.55	<u> </u>	图 書	学術	雑誌			視聴覚資料	機械	· 器具	本	学部関連図書等は大学図書館所蔵
(5)	新設学部等 の名称	(う	ち外国書〕	〔うち外	ト国書〕 種	電子ジャー〔うち外国〕		点		点	点	のみ。 大学・短大全体の共用分(心理科学部関連図書を含む) 図書約128,000冊
	ᄼᄪᄭᄴᄳ	20, 20,	608 [2, 036] 377 [2, 035] 226 [2, 646] 244 [2, 588]	20	[7]	5 (994 1, 133 1, 117		900 887 869	0	約122,700冊 約129,000冊 (約6,300冊) (約7,000冊) (約9,500冊) 視聴覚資料4,300点
図書・:	心理科学部 心理科学科	-(20, 2 -(19, 9	508 (2,036)) 227 (2,035)) 986 (2,646)) 384 (2,588))	(20	[7])	(5 [0))	(989) -(-1, 121) -(-1, 093) -(-1, 057)	(-(900) -887) -869)	0)	5.400点 5.800点 学術雑誌約1,200種 ・利用実績のない古い視聴覚資料 (VHS) 及び電子図書(洋書)を廃棄する一方、必要な図書等は計画 通り購入しており、修学に支障は 生じない(30)
韻備		20, 20,	608 [2, 036] 377 [2, 035] 226 [2, 646] 244 [2, 588]	20	[7]	5 [0)	994 1, 133 1, 117		900 887 869	0	・利用実績のない古い洋書及び視聴覚資料(VHS)を廃棄する一方、 必要な図書等は計画通り購入して おり、修学に支障は生じない (29) ・新設学部に重点を置き、関連図
	ā†	(20, 1 (19, 1	508 (2,036)) 227 (2,035)) 986 (2,646)) 984 (2,588))	(20	(7))	(5 (0))	(989) -(-1, 121) -(-1, 093) -(-1, 057)	<u>(</u>	900) -887) -869)	0)	・制成子印に単二と世 (28) ・機械・器具:新設学部に重点をおき、既設・新設実験室等に機 械・器具を購入したため増加 (29) (30)
			面	積		閲覧座席	ま数 かんしゅうしん			29		大学全体(関西女子短期大学での 共用分を含む) <短大> 面積: 442㎡ 関覧座席数: 80席
(6) 図	書館			1, 173 1, 246				305席			102, 000 m 111, 000 m	収容可能冊数:53,000冊 ・修学に支障のない範囲で、第2書 庫を実習客に転用したことによる

(7) 体	育	館	面	積			体育館以外	外のスポーツ	′施設の概要		大学全体 (関西女子短期大学での共用分含
(7) 14	Ħ	路		7, 053r	n [‡]		7	テニスコート	3面		む)
		[2	区 分	開設年度	完成年度	区	分	開設前年度	開設年月	度 完成年度	
(8)	経費 の見	教員 1	人当り研究費等	500千円	500千円	図書	購入費	2, 752千 2, 667千		F円 2,117千円	(28) ・設備購入費:教育内容をより充
経費の見積り及び維持方法の概要	積り	共 同] 研 究 費 等	9,500千円 8,000千円	6,500千円 8,000千円	設備	購入費	776∓ 600∓			実させるため、更新の前倒し、設備の追加購入を行ったことによる(29)・共同研究費等:共同研究費等の予算の一部を教育改革推進に使用することにしたことによる減額(30)
	-	1 人当 J	第1年次	第2年次	第3年	次	第 4 年	次	第5年次	第6年次	
		す金	1,300千円	1, 100千月	円 1, 10	00千円	1, 1	00千円	一 千円	一 千円	
	学生	納付金	:以外の維持方法の	概要 私立大学	等経常費補助	助金	ŧ				

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	関西	福祉	科学	大学												備	考	
既設学部等の名称	修業 年限	入定	学員	編入学定 員	収定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度		所	在	地					
	年		人	年次		人		倍										
				人														
社会福祉学部				0 /= 1/n			34 I			+ 75	r / - +/	5 GS ±	_				**	40
社会福祉学科	4		140	3年次 20		640	学士 (社会福祉学)	1. 06	平成9年月	世紀			ı 1番1号		+ 成28年 年次編		学定員△ 0	40、
臨床心理学科	4	_	-	3年次 20	-	_	学士 (臨床心理学)	_	平成15年原	雙		同上	:	Т	上(3年	次編入	り学生募 【学定員に 上募集停』	ま平
<u>心理科学部</u>																		
<u>心理科学科</u>	4		110	3年次 10		340	学士 (心理科学)	0. 83	平成28年原	隻		同上						
健康福祉学部																		
健康科学科	4		80	3年次 10		340	学士 (健康科学)	0. 96	平成15年原	隻		同上	1					
福祉栄養学科	4		80	3年次 5		330	学士 (福祉栄養学)	0. 99	平成15年原	隻		同上	:					
保健医療学部																		
リハビリテーション学科			170			670		1. 04										
理学療法学専攻	4		80	_		320	学士 (理学療法学)	1. 02	平成23年原	隻		同上	-					
作業療法学専攻	4		50	_		190	学士 (作業療法学)	1. 14	平成23年原	隻		同上	:	Σ	平成28年	₹度入	学定員+1	0
言語聴覚学専攻	4		40	_		160	学士 (言語聴覚学)	0. 95	平成27年原	芰		同上	:					
教育学部																		
教育学科	4		100			300		0. 77										
子ども教育専攻	4		50	_		150	学士 (教育学)	0. 51	平成28年原	芰		同上						
発達支援教育専攻	4		50	_		150	学士 (教育学)	1. 03	平成28年原	芰		同上	:					
1 24 - 5 76		. += +	T.1 24		¥ n.+.									-				
大学の名称	関也 修業		科字 学	大学大学 編入学	収収	宓		平均入学	開設	<u> </u>				$\frac{1}{1}$		備	考 	
既設学部等の名称 	年限	定	員	定員	定	容員	は称号	定員 超過率	年度		肵	在	地	_				
	年		人	年次 人		人		倍										
社会福祉学研究科																		
臨床福祉学専攻 (博士前期課程)	2		20	-		40	修士 (臨床福祉学)	0. 12	平成13年月	大阪 旭ヶ			ī 1番1号	.				
臨床福祉学専攻 (博士後期課程)	3		3	_		9	博士 (臨床福祉学)	0. 44	平成15年原	麦		同上	:					
心理臨床学専攻 (修士課程)	2		10	_		20	修士 (心理臨床学)	0.80	平成15年原	¥		同上	<u>.</u>					

大学の名称	関西	女子	短其	月大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定	学員	編入学定 員	収定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所	在	地	
	年		人	年次		人		倍					
				人									
保育学科	2		120	_	2	40	短期大学士 (保育学)	0. 89	昭和40年度	大阪府村 旭ヶ丘3			平成28年度入学定員+20
養護保健学科	2		40	_		80	短期大学士 (保健学)	1. 08	昭和42年度		同上		
歯科衛生学科	3		100	_	3	00	短期大学士 (歯科衛生学)	1. 15	平成17年度		同上		
医療秘書学科	2		40	_		80	短期大学士 (保健学)	0. 93	平成23年度		同上		平成28年度入学定員△20

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(<u>A C対象学部等含む</u>)について、それぞれの学校種ごとに、 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<心理科学部 心理科学科>

(1)一① 担当教員表

		担当教員表 は届出時】		【平成	t 284	主度】		【平月	戊29年	年度】		【平月	붗30:	年度]	r	平成	3 1 4	E度】
専任・	1117	氏 名	1 6	専任・	, 2 0 -	氏名	1	専任・	~ _	氏名	ı	専任・		氏 名	専		1	氏 名
兼担・		(年 齢)		兼担・		(年齢)		兼担・		(年 齢)		兼担・		(年 齢)	兼			(年 齢)
兼任	職名	<就任 (予定) 年月	3	兼任	職名	<就任 (予定) 年月		兼任	職名	<就任 (予定) 年月		兼任	職名	<就任 (予定) 年月	兼	任	職名	<就任 (予定) 年月
の別	104 11	>	•	の別	794 11	>		の別	794 11	>		の別	794 11	>	ග ්	別	794 11	>
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
		山田 冨美雄	1			山田 冨美雄				山田 冨美雄				山田 富美雄				
		(64)				(64) <平成28年4月>				(65)				(66)				
		<平成28年4月>	1 1							<平成29年4月>				<平成30年10月>			ŀ	
		基礎ゼミナールⅣ				基礎ゼミナールⅣ												
		産業・組織心理学				産業・組織心理学				産業・組織心理学				産業・組織心理学				
		環境心理学				環境心理学				環境心理学				環境心理学				
		健康心理学				maries A. Top AM.				Marie A. TIDAM								
						健康心理学				健康心理学				健康・医療心理学				
	40, 470	心理学概論			44, 470	心理学概論			Act. 470	心理学概論			教授	心理学概論				
専	教授 (学部長	ストレスマネジメント論		専	教授 (学部長	ストレスマネジメント論		専	教授 (学部長	ストレスマネジメント論		専	(学部長	ストレスマネジメント論				
	兼 学科長)	研究演習I		**	兼 学科長)	研究演習I		-7	兼 学科長)	研究演習I		**	兼 学科長)	研究演習I				
														WIDONE I				
		研究演習Ⅱ				研究演習Ⅱ				研究演習Ⅱ				研究演習Ⅱ				
		研究演習Ⅲ				研究演習Ⅲ				研究演習Ⅲ				研究演習Ⅲ				
		研究演習Ⅳ				研究演習Ⅳ				研究演習Ⅳ				研究演習Ⅳ				
		WI JUNE 21				W1707K B 14												
										基礎ゼミナール皿				基礎ゼミナールⅢ				
										心理学基礎実験実習Ⅱ※				心理学実験Ⅱ※				
														公部心理師の職責				
-			! ⊦							相谷 豊				相谷豊	\vdash			
	1		IJ							(57)		l	١	(58)				
								*	教授	<平成29年10月>		*	教授	<平成29年10月>			ļ	
										基礎ゼミナールⅣ				基礎ゼミナールⅣ				
		相谷 登	1 [相谷登				相谷 登				相谷 登				
		(56) <平成28年4月>				(56) <平成28年4月>				(57) <平成29年10月>				(58) <平成30年4月>				
		基礎ゼミナール I				基礎ゼミナール I				11,00=1,11,00							İ	
		基礎ゼミナールⅡ				基礎ゼミナールⅡ												
		基礎ゼミナールⅢ				基礎ゼミナールⅢ												
		総合教養 I -河内学-※				総合教養 I -河内学-※				総合教養 I -河内学-※				総合教養 I -河内学-※				
		家族心理学				家族心理学				家族心理学				家族心理学				
		人格(性格)心理学				人格(性格)心理学				人格(性格)心理学				感情・人格心理学				
専	教授	心理学史		専	教授	心理学史		専	教授	心理学史		専	教授	心理学史				
7	7X1X	犯罪心理学		4		犯罪心理学		7	9X1X	犯罪心理学		4	7X 1X	犯罪心理学				
		研究演習I				研究演習I				研究演習I				研究演習I				
		研究演習Ⅱ				研究演習Ⅱ				研究演習Ⅱ				研究演習Ⅱ				
		研究演習Ⅲ				研究演習Ⅲ				研究演習Ⅲ				研究演習Ⅲ				
		研究演習Ⅳ				研究演習Ⅳ				研究演習Ⅳ				研究演習Ⅳ				
										基礎ゼミナールⅣ				基礎ゼミナールⅣ				
														心理演習 1 ※				
			l l											心理実習	L			
	1		Ιĺ						教授	山田 富美雄 (65)		l	教授	山田 富美雄 (66)				
									(学部長 ※	<平成29年4月>			(学部長	<平成29年4月>				
	l		IJ						学科長)	基礎ゼミナール皿		l	学科長)	基礎ゼミナールⅢ		J	ľ	
	l -	粟村(佐野) 昭子	1 }			粟村(佐野) 昭子			 	粟村(佐野) 昭子			l	粟村(佐野) 昭子	\vdash			
1	ĺ	(55)	IJ			(55)			ĺ	(56)			Ì	(57)				
		<平成28年4月>	1 1			<平成28年4月>				<平成28年4月>				<平成30年4月>			ŀ	
	1	基礎ゼミナールⅣ	IJ			基礎ゼミナールⅣ			l	基礎ゼミナールⅣ		l		基礎ゼミナールⅣ				
	l	心理アセスメント実習 I ※	IJ			心理アセスメント実習 I ※			l	心理アセスメント実習 I ※		l	l			J		
	1	^へ 青年心理学	Ιĺ			青年心理学			l	青年心理学		l		青年心理学				
	1		Ιĺ						l			l						
	l	中高年の臨床心理	IJ			中高年の臨床心理			l	中高年の臨床心理		l	l	中高年の臨床心理		J		
	1	臨床心理学	Ιĺ			臨床心理学			l	臨床心理学		l		臨床心理学概論				
専	教授	研究演習I	IJ	専	教授	研究演習I		専	教授	研究演習I		専	教授	研究演習I				
	1		Ιĺ						l			l	1					
	1	研究演習Ⅱ	IJ			研究演習Ⅱ			l	研究演習Ⅱ		l	1	研究演習Ⅱ				
	l	研究演習Ⅲ	IJ			研究演習Ⅲ			l	研究演習Ⅲ		l	l	研究演習Ⅲ		J		
		研究演習Ⅳ				研究演習Ⅳ				研究演習Ⅳ				研究演習Ⅳ				
1	ĺ		IJ						ĺ				Ì					
	l		IJ						l			l	l	心理的アセスメントⅡ※		J		
	1		Ιĺ						l			l	1	心理演習I※				
	l		IJ						l			l	l	心理実習		J		
-	1								 				1		\vdash			
	1		IJ						l			l	1	竹橋 洋穀 (39)				
	1		IJ						l			*	准教授	<平成32年4月>				
1	ĺ		IJ						ĺ				Ì	心理的アセスメントI※				
		1	, L				•				ı					1		

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月	3	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月	専行 兼担 兼日	•	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
専	教授	担当授業科目名 宇恵 (51) 《平成28年4月〉 基礎ゼミナールII 基礎ゼミナールIV 調査方法論 教育心理学 健康とスポーツの心理学 心理統計法 I 研究演習 I 研究演習 I 研究演習 I 研究演習 I		専	教授	担当授業科目名 宇恵 (51) <平成28年4月> 基礎ゼミナールII 基礎ゼミナールIV 調査方法論 教育心理学 健康とスポーツの心理学 心理統計法 I 研究演習 I 研究演習 I 研究演習 I 研究演習 I 研究演習 I	事	教授	担当授業科目名 字應 (52) 《平成29年4月》 基礎ゼミナールIII 基礎ゼミナールIV 調査方法論 教育心理学 他理・とスポーツの心理学 心理統計法 I 研究演習 I 研究演習 I 研究演習 I 研究演習 I 研究演習 I 研究演習 I 研究演習 I 研究演習 I 研究演習 I 「研究演習 I 「「「「「「」」 「「」」 「「」」 「「」 「「」 「「」	専	教授	担当授業科目名 宇愿 (53) 《平成30年4月》 基礎ゼミナールII 基礎ゼミナールII 議費ガ法論 教育・学校の選学 健康 とスポーツの心理学 心理学教計法 I 研究演習I 研究演習I 研究演習I 研究演習I 研究演習I ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				担当授業科目名
專	教授	柏木 雄次郎 (61) (61) (61) (61) (61) (61) (61) (61)	-	爺	教授	柏木 雄次郎 (61) (61) 《平成28年4月> 基礎ゼミナールⅣ 総合教養Ⅱ・「こころ」に 医学順論 精神医学根論 医学一般 I 精神医学 I	専	教授	柏木 建次郎 (62) (62) (62) (62) (62) (62) (62) (62)	専	教授	和木 雄次郎 (63) (63) (63) (63) (63) (63) (63) (63)				
專	教授	亀島(最上)信也 (60) (60) (60) (60) (60) (60) (60) (60)		専	教授	亀島(最上)信也 (60) (60) (60) (60) (60) (60) (60) (60)	專	教授	電島(最上)信也 (61) (61) (61) (61) (61) (61) (61) (61)	専	教授	電島(最上)信也 (62) (62) (62) (62) (62) (62) (62) (62)				
専	教授	川上 範夫 (70) 《平成28年4月> 心理療法論Ⅱ 心身関係論 心理療法論Ⅱ 精神分析学 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅲ	-	専	教授	川上 範夫 (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70)	専	教授	川上 範夫 (71) (71) (72) (72) (74) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75	専	教授	川上 範夫 《平成28年4月》 心理療法論 心理療法論 心理療法論 心理療法論 情報分析学 研究演習 研究演習				
専	教授	模井 秀雄 (53) 《平成28年4月> 基礎ゼミナールⅢ 総合教養Ⅱ-「こころ」に ついて学ぶ・ 脚害児(者)心理学 心理アセスメント実管Ⅱ 心理アセスメント実管Ⅱ ※ 理学技領域実管Ⅱ ・		專	教授	模井 秀雄 (53) <平成28年4月> 基礎ゼキナールⅢ 総合教養Ⅱ-「こころ」に ので第二条 神書児(者) 心理学 心理でなメント実習Ⅱ※ 心理学表談循域実習Ⅰ※ 発達協体の理学 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅱ	專	教授	模井 秀雄 (544) 〈平成28年4月〉 基礎ゼミナールⅢ 総合教養Ⅱ-「こころ」に のでまった。 脚書児(者)心理学 心理アセスメント実習Ⅱ ・ 発達臨床心理学 ・ 研究演習Ⅱ ・ 研究演習Ⅲ ・ 研究演習Ⅲ ・ 研究演習Ⅲ	專	教授	様井 秀雄 (55) 《平成31年4月》 基礎ゼミナールⅢ 総合教養用・「こころ」について学ふ・塚 神書者・即書見心理学 心理的アセスメントⅡ米 心理論管Ⅰ米 発達協保心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅱ				

車/1.			1 5	±и. I			F	da /r .	1		1	事作・			幸か			
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	R	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	107	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任 兼担 兼任 の別	・ 職	名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名				担当授業科目名		///		担当授業科目名				担当授業科目名			ŀ	担当授業科目名
			lſ							谷向 みつえ (52)				谷向 みつえ (53)				
								*	教授	<平成29年10月> 心理学実践領域実習 I ※		*	教授	<平成31年10月> 心理演習 I ※			-	
		島井 哲志	╽┟			島井 哲志	ŀ			島井 哲志				島井 哲志		-		
		(65) <平成28年4月>				(65) <平成28年4月>				(66) <平成28年4月>				(67) <平成30年10月>				
		基礎ゼミナールⅣ				基礎ゼミナールⅣ				基礎ゼミナールⅣ				基礎ゼミナールⅣ				
		コミュニティ心理学				コミュニティ心理学				コミュニティ心理学				コミュニティ心理学				
		消費者心理学 マスメディア心理学				消費者心理学 マスメディア心理学				消費者心理学 マスメディア心理学				消費者心理学 マスメディア心理学				
専	教授	社会心理学		専	教授	社会心理学		専	教授	社会心理学		専	教授	社会・集団・家族心理学				
		ポジティブ心理学				ポジティブ心理学				ポジティブ心理学				ポジティブ心理学				
		研究演習I				研究演習I				研究演習I				研究演習I				
		研究演習Ⅱ				研究演習Ⅱ				研究演習Ⅱ				研究演習Ⅱ				
		研究演習Ⅲ				研究演習Ⅲ				研究演習Ⅲ				研究演習Ⅲ				
		研究演習Ⅳ 谷向 みつえ	l L			研究演習Ⅳ 谷向 みつえ	-			研究演習Ⅳ 谷向 みつえ				研究演習Ⅳ 谷向 みつえ	-	_		
		(51) 〈平成28年4月〉				(51) 〈平成28年4月〉				(52) 〈平成29年10月〉				(53)				
		基礎ゼミナールⅢ	11			基礎ゼミナールⅢ				基礎ゼミナールⅢ				基礎ゼミナールⅢ			Ī	
		総合教養 I -河内学-※				総合教養 I -河内学-※				総合教養 I -河内学-※				総合教養 I -河内学-※				
		心理の現場と症例理解				心理の現場と症例理解				心理の現場と症例理解				心理の現場と症例理解				
		心理臨床と面接				心理臨床と面接				心理臨床と面接				心理臨床と面接				
専	教授	心理学実践領域実習Ⅱ※		専	教授	心理学実践領域実習Ⅱ※ 乳幼児心理学		専	教授	心理学実践領域実習Ⅱ※ 乳幼児心理学		専	教授	乳幼児心理学				
		乳幼児心理学 研究演習 I				机切光心理子 研究演習 I				- 乳切児心理子 研究演習Ⅰ				研究演習 I				
		研究演習Ⅱ				研究演習Ⅱ				研究演習Ⅱ				研究演習Ⅱ				
		研究演習Ⅲ				研究演習Ⅲ				研究演習Ⅲ				研究演習Ⅲ				
		研究演習Ⅳ				研究演習Ⅳ				研究演習IV				研究演習Ⅳ				
										心理学実践領域実習 I ※				心理演習 I ※				
			╽┟				L							心理実習 櫻井 秀雄			_	
													教授	(55) 〈平成32年4月〉				
												•		○理演習Ⅱ※			-	
						久保 信代 (47)	Ī			久保 信代 (48)				久保 信代 (49)				
						<平成28年4月> 心理学外書講読				<平成28年4月> 心理学外書講読				<平成30年4月> 心理学外書講読			ŀ	
					准教授				准軟授				准教授	基礎ゼミナール I				
														基礎ゼミナールエ				
														心理演習 I ※ 心理実習				
		多田(鈴木) 美香里	╽┟			多田(鈴木) 美香里	ŀ			多田(鈴木) 美香里				多田(鈴木) 美香里		+		
		(43) <平成28年4月>				(43) <平成28年4月>				(44) <平成28年4月>				(45) 〈平成30年10月〉				
		基礎ゼミナールⅣ				基礎ゼミナールⅣ				基礎ゼミナールⅣ				基礎ゼミナールⅣ				
		心理学 心理学基礎実験実習 I ※				心理学 心理学基礎実験実習 I ※				心理学 心理学基礎実験実習 I ※				心理学 心理学実験 I ※				
		心理学基礎実験実習Ⅱ※				心理学基礎実験実習Ⅱ※				心理学基礎実験実習Ⅱ※				心理学実験 I ※				
専	准教授			専	准教授	心理統計法Ⅱ		専	准数授			専	准教授					
		認知心理学				認知心理学				認知心理学				認知心理学				
		研究演習I				研究演習I				研究演習I				研究演習I				
		研究演習Ⅱ				研究演習Ⅱ				研究演習Ⅱ				研究演習Ⅱ				
		研究演習Ⅲ				研究演習Ⅲ				研究演習Ⅲ				研究演習皿				
<u> </u>		研究演習Ⅳ 渡部(神谷) 敦子	╽┝			研究演習Ⅳ	ŀ			研究演習IV				研究演習Ⅳ	-	-	-	
		(42) 〈平成28年4月〉																
		基礎ゼミナールⅢ															ſ	
		学校心理学																
		児童心理学 心理アセスメント実習 II																
専	准教授																	
		研究演習Ⅰ																
		研究演習Ⅱ																
		研究演習Ⅲ																
		研究演習Ⅳ																
			_				_											

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専作兼理	<u>a</u> ∙ ±	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
			*	100 ins	竹橋 洋教 (37) 《平成28年4月> 基礎ゼキナールⅢ 学校心理学 児童心理学 心理アセスメント実置Ⅱ ※ の理学実施領域実置Ⅱ 研究決置Ⅱ 研究決置Ⅲ 研究決置Ⅲ 研究決置Ⅲ	1	*	SPA (SPA)	竹橋 洋歌 (38) (38) 《平成28年4月〉 基礎ゼミナール皿 学校の理学 児童の理学 心理アセスメント実管I※ 研究演習I 研究演習I 研究演習I 研究演習I 研究演習I 研究演習I 研究演習I 研究演習I 研究演習I	•	*	准锁提	竹橋 洋敷 (39) (39) (39) (39) (39) (39) (39) (39)			
											*	教授	栗村(佐野) 昭子 (57) 〈平成32年10月〉 心理的アセスメントI※			
											#	mm	津田 恭充 (38) 〈平成32年4月〉			
專	講師	本村 (47) 志保 (47) 本保 (47) 人名 (47) 人名 (47) 人名 (47) 人名 (48) 人名 (4	專	3萬6石	本村 志保 (47) 《平成28年4月》 精神後提福社獎助漢習 (基 情) 精神後提福社獎助漢習 (專 門) I 精神保健福社援助漢習 (專 門) I 精神保健福祉援助実習指導 持神保健福祉援助実習指導 持神保健福祉援助実習指導 所令(養福社援助実習指導 研究漢習 I 研究漢習 I 研究漢習 I		專	准敏授	本村 (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48)		専	准軟接	精神保健福祉援助実習 館神保備福祉援助技術各 施工 心理論習!※			
			*	禁師	宿谷(金児)仁美 (44) <平成28年4月> 外国語で親しむ心理学	1	•	計解	宿谷(金児)仁美 (45) 〈平成28年4月〉 外国語で親しむ心理学	-	*	納師	・ 本			
			*	100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	竹橋 洋教 (37) 《平成28年4月〉 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナール 学校の選学 児童の選学 の選や支統領域実置 I 研究演習 I 研究演習 I 研究演習 I 研究演習 I	,	•	數師	竹橋 洋徹 (38) 《平成29年10月》 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナール正 単校も選学 児童も選学 心理アセスメント奏管I 研究演習I 研究演習I 研究演習I 研究演習I 研究演習I 研究演習I 研究演習I 研究演習I 研究演習I		*	准軟接	竹橋 洋毅 (39) 〈平成32年4月〉 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナール国 学校の選学 児童の選学			
											*	教授	(57) <平成32年10月> 心理的アセスメントII※			
											*	鉄師	津田 恭充 (38) 〈平成31年10月〉 心理演習 I ※ 心理演習 I ※			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼日 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	兼兼	任・ 担・ 任)別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 >		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名 津田 恭充 (36) <平成28年4月> 基礎ゼミナールⅢ			担当授業科目名 津田 恭充 (36) <平成28年4月> 基礎ゼミナールⅢ	┝			担当授業科目名 津田 恭充 (37) <平成28年4月> 基礎ゼミナール皿				担当授業科目名 津田 恭充 (38) 〈平成31年4月〉 基礎ゼミナールⅢ			担当授業科目名
		総合教養II-「こころ」に ついて学ぶ-※ 医療心理学 カウンセリング論 行動分析学			総合教養II-「こころ」に ついて学ぶ-※ 医療心理学 カウンセリング論 行動分析学				総合教養II-「こころ」に ついて学ぶ				総合教養II-「こころ」に ついて学ぶ-※ 医療心理学 心理学的支援法 行動分析学			
専	講師	心理アセスメント実習 I ※ 心理学実践領域実習 I ※ 研究演習 I	専	講師	心理アセスメント実習 I ※ 心理学実践領域実習 I ※ 研究演習 I		専	講師	心理アセスメント実習 I ※ 研究演習 I		専	講師	心理的アセスメント I ※心理演習 I ※研究演習 I			
		研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ			研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ				研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ				研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ ◆環境習Ⅰ※			
						_	_	鉄師	竹橋 洋穀 (38) <平成29年10月>				心理実習			
		綾木 仁 (59)			綾木 仁 (59)	_			◆理学実践領域実習 I ※ 綾木 仁 (60)				綾木 仁 (61)			
兼担	教授	<平成28年10月> 総合教養Ⅳ-栄養-※ 伊倉 宏司	兼担	教授	<平成28年10月> 総合教養Ⅳ-栄養-※ 伊倉 宏司		兼担	教授	<平成28年10月> 総合教養Ⅳ-栄養-※ 伊倉 宏司		兼担	教授	<平成28年10月> 総合教養Ⅳ-栄養-※ 伊倉 宏司			
兼担	教授	(68) <平成28年10月> 総合教養IV-栄養-※ 遠藤 洋二	兼担	教授	(68) <平成28年10月> 総合教養IV-栄養-※ 遠藤 洋二		兼担	教授	(69) <平成28年10月> 総合教養IV-栄養-※ 遠藤 洋二		兼担	教授	(70) <平成28年10月> 総合教養IV-栄養-※ 遠藤 洋二			
兼担	教授	透際 / 子一 (59) <平成30年4月> 公的扶助論 社会福祉行財政論	兼担	教授			兼担	教授			兼担	教授	本版 / / - (59) 〈平成30年10月〉 公的扶助論			
											兼任	跳師	今井 慶宗 (46) 〈平成30年4月〉 社会福祉行財政論			
兼担	教授	大川 尚子 (54) <平成28年4月> 総合教養亚-健康の世界- ※	兼担	教授	大川 尚子 (54) <平成28年4月> 総合教養亚-健康の世界-※		兼担	教授	大川 尚子 (55) <平成28年4月> 総合教養町-健康の世界- ※		兼担	教授	大川 尚子 (56) <平成28年4月> 総合教養亚-健康の世界- ※			
			兼担	教授	甲斐 悟 (50) <平成28年4月> 基礎ゼミナールI	:	兼担	教授	甲斐 悟 (51) <平成28年4月> 基礎ゼミナールI		兼担	教授	甲斐 悟 (52) <平成28年4月> 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールI			
兼担	教授	倉恒 弘彦 (61) <平成28年4月> 総合教養Ⅱ-「こころ」に ついて学ぶ-※ 総合教養Ⅲ-健康の世界- ※	兼担	教授	倉恒 弘彦 (61) <平成28年4月> 総合教養Ⅱ-「こころ」に ついて学ぶ-※ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※		兼担	教授	倉恒 弘彦 (62) 〈平成28年4月〉 総合教養Ⅱ-「こころ」に ついて学ぶ・※ 総合教養Ⅲ-健康の世界- ※	•	兼担	教授	倉恒 弘彦 (63) <平成28年4月> 総合教養Ⅱ-「こころ」に ついて学ぶ-※ 総合教養Ⅲ-健康の世界- ※			
兼担	教授	疲労とストレスの科学 齋藤 千鶴 (63) <平成28年4月> 社会福祉概論	兼担	教授	疲労とストレスの科学 齋藤 千鶴 (63)〈平成29年10月〉		兼担	教授	疲労とストレスの科学齋藤 千鶴 (64)(平成29年10月>		兼担	教授	疲労とストレスの科学 齋藤 千鶴 (65)〈平成30年4月〉			
		地域福祉論	兼任	銀師	地域福祉論 鴻上 圭太 (42) 〈平成28年4月〉		兼任	跳師	地域福祉論 鴻上 圭太 (43) 〈平成28年4月〉		兼任	##	地域福祉論 コミュニティワーク 鴻上 圭太 (44) <平成28年4月>			
兼担	教授	相良 多喜子 (68) <平成28年10月>	兼担	教授	社会福祉概論 相良 多喜子 (68) <平成28年10月>	-	兼担	教授	社会福祉振動 相良 多喜子 (69) <平成28年10月>		兼担	教授	社会福祉振動 相良 多喜子 (70) <平成28年10月>			
兼担	教授	総合教養IV-栄養-※ 志水 秀郎 (57) <平成28年10月> 総合教養IV-栄養-※	兼担	教授	総合教養IV-栄養-※ 志水 秀郎 (57) <平成28年10月> 総合教養IV-栄養-※				総合教養Ⅳ-栄養-※				総合教養Ⅳ-栄養-※			
		rec let 76. 近 4 ² - 本 近 ⁻ 次			too led 7A.E. 4F 本選「公		兼担	教授	中村 教子 (60) 〈平成29年10月〉 総合教養可-栄養-※		兼担	教授	中村 敏子 (61) <平成29年10月> 総合教養収-栄養-※			
兼担	教授	杉本 敏夫 (67) 《平成28年4月》 社会福祉援助技術総論 I 社会福祉援助技術総論 I	兼任	鉄師	杉本 敏夫 (67) 〈平成28年4月〉 社会福祉援助技術総論Ⅰ 社会福祉援助技術総論Ⅱ		兼任	鉄師	杉本 敏夫 (68) 《平成28年4月》 社会福祉援助技術総論 I 社会福祉援助技術総論 I							
											兼担	教授	安井 理夫 (58) 〈平成30年4月〉 社会福祉援助技術総論 I			
			IL			L				Ĺ			社会福祉援助技術裁論Ⅱ		<u> </u>	

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
兼担	教授	担当授業科目名 田巻 義孝 (72) <平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界-	兼担	教授	担当授業科目名 田巻 義孝 (72) <平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界-※	=	兼担	教授	担当授業科目名 田巻 義孝 (73) <平成28年4月> 総合教養町-健康の世界-		兼担	教授	担当授業科目名 田巻 義孝 (74) <平成28年4月> 総合教養町-健康の世界-			担当授業科目名
兼担	教授	※ 膝体不自由者の心理、生 理・病理 津田 耕一 (55) <平成28年10月>	兼担	教授	bは体不自由者の心理、生理・病理 津田 耕一 (55) <平成28年10月>	F	兼担	教授	※ 膝体不自由者の心理、生 理・病理 津田 耕一 (56) <平成28年10月>		兼担	教授	※ 膝体不自由者の心理、生 理・病理 津田 耕一 (57) 〈平成30年4月〉			
JR 1111	9418	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 障害者福祉論Ⅰ	JK-12	9418	総合教養II-「こころ」に ついて学ぶ-※ 障害者福祉論 I	F	***	4418	総合教養II-Tこころ」に ついて学ぶ-※ 障害者福祉論 I				総合教養エー「こころ」に ついて学ぶ-※ 柿木 志津江 (43)			
		都村(塩山) 尚子			都村(塩山) 尚子				都村(塩山) 尚子		兼担	准教授	<平成30年4月> 障害者福祉論Ⅰ 都村(塩山) 尚子			
兼担	教授	(55) <平成30年10月> 権利擁護と成年後見制度 長見 まき子	兼担	教授	(53) <平成30年10月> 権利擁護と成年後見制度		兼担	教授	(54) <平成30年10月> 権利擁護と成年後見制度		兼担	教授	(55) <平成30年10月> 権利擁護と成年後見制度			
兼担	教授	(58) <平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界- ※			福田 早苗				福田 早苗				福田 早苗			
		袴田 俊一	兼担	教授	(44) 《平成28年4月》 総合教養軍-健康の世界- ※ 袴田 俊一		兼担	教授	(45) 《平成28年4月》 総合教養軍-健康の世界- ※ 袴田 俊一		兼担	教授	(46) 《平成28年4月》 総合教養軍-健康の世界- ※ 袴田 俊一			
兼担	教授	(61) <平成28年10月> 人間学	兼担	教授	(61) <平成28年10月> 人間学		兼担	教授	(62) <平成28年10月> 人間学		兼担	教授	(63) <平成28年10月> 人間学			
兼担	教授	(70) <平成28年 4 月> 総合教養Ⅲ-健康の世界- ※	兼担	教授	(70) <平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界-※		兼担	教授	(71) <平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界- ※		兼担	教授	(72) <平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界- ※			
兼担	教授	林 龍平 (63) <平成29年4月> 学習心理学	兼担	教授	林 龍平 (62) <平成29年4月> 学習心理学		兼担	教授	林 龍平 (63) <平成29年4月> 学習心理学		兼担	教授	林 龍平 (64) <平成30年4月> 学習・賞語心理学			
兼担	教授	平田 まり (65) <平成28年4月> 総合教養団-健康の世界- ※			18K 022 21 45-				******				# 3 4			
			兼担	教授	藤岡 弘季 (45) 〈平成28年4月〉 総合教養軍-健康の世界-		兼担	教授	藤岡 弘季 (46) 〈平成28年4月〉 総合教養軍-健康の世界-		兼担	教授	藤岡 弘季 (47) 〈平成28年4月〉 総合教養軍-健康の世界-			
		水鳥 正二郎 (52) <平成28年4月> 情報処理学I			水鳥 正二郎 (52) <平成28年4月> 情報処理学I				水鳥 正二郎 (53) <平成28年4月> 情報処理学 I	•			水鳥 正二郎 (54) 〈平成30年4月〉 情報処理学 I			
兼担	教授	情報処理学Ⅱ 基礎数学	兼担	教授	情報処理学Ⅱ 基礎数学		兼担	教授	情報処理学Ⅱ 基礎数学		兼担	教授	情報処理学Ⅱ 基礎数学			
		物理学入門 水間 智哉			物理学入門 水間 智哉				物理学入門 水間 智哉				物理学入門 コンピュータサイエンス 水間 智哉			
兼担	教授	(49) <平成28年10月> 総合教養収-栄養-※ 峯松 正敏	兼担	教授	(49) <平成28年10月> 総合教養IV-栄養-※		兼担	教授	(50) <平成28年10月> 総合教養IV-栄養-※		兼担	教授	(51) <平成28年10月> 総合教養IV-栄養-※ 峯松 正敏			
兼担	教授	(50) <平成28年10月> 総合教養IV-栄養-※	兼担	教授	(50) <平成28年10月> 総合教養Ⅳ-栄養-※		兼担	教授	幸位 正敬 (51) <平成28年10月> 総合教養Ⅳ-栄養-※		兼担	教授	幸位 止敏 (52) <平成28年10月> 総合教養Ⅳ-栄養-※			
兼担	教授	宮野 安治 (70) <平成29年4月> キャリアデザイン※	兼担	教授	宮野 安治 (69) <平成29年4月> キャリアデザイン※											
兼担	教授	村松 陽治 (51) <平成28年10月> 総合教養IV-栄養-※	兼担	教授	村松 陽治 (51) <平成28年10月> 総合教養Ⅳ-栄養-※		兼担	教授	村松 陽治 (52) <平成28年10月> 総合教養Ⅳ-栄養-※		兼担	教授	村松 陽治 (53) <平成28年10月> 総合教養Ⅳ-栄養-※			
兼担	教授	森 明彦 (64) <平成28年4月> 総合教養 I -河内学-※ 人権教育	兼担	教授	森 明彦 (64) <平成28年4月> 総合教養 I -河内学-※ 人権教育		兼任	nt m	森 明彦 (65) 《平成29年4月> 総合教養 I -河内学-※ 人権教育		兼任	n m	森 明彦 (66) 《平成29年4月》 総合教養 I -河内学-※ 人権教育			
		日本史 森 禎章			日本史 森 禎章				日本史 森 禎章				日本史 森 禎章			
兼担	教授	(53) 《平成28年4月》 基礎科学概論※ 安井 理夫	兼担	教授	(53) <平成28年4月> 基礎科学概論※ 安井 理夫		兼担	教授	(54) <平成28年4月> 基礎科学概論※ 安井 理夫		兼担	教授	(55) <平成28年4月> 基礎科学概論※ 安井 理夫			
		(58) <平成30年4月> 社会福祉原論 I			(56) <平成30年4月> 社会福祉原論 I				(57) <平成30年4月> 社会福祉原論 I				安井 埋大 (58) <平成30年4月>			
兼担	教授	社会福祉原論Ⅱコミュニティワーク	兼担	教授	社会福祉原論Ⅱコミュニティワーク		兼担	教授	社会福祉原論Ⅱコミュニティワーク		兼担	教授	社会福祉援助技術総論I			
						Ĺ							社会福祉援助技術器論Ⅱ			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 >	疧 疧	厚任・ 表担・ 表任 D別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 >	100	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名	ŀ			担当授業科目名				担当授業科目名 家高 将明 (41)			担当授業科目名
											兼担	准教授	<平成30年4月> 社会福祉原輸I 社会福祉原輸I			
						ŀ					兼担	教授	齋藤 千鶴 (65) <平成30年4月>			
		山内 彰 (51)	_		山内 彰 (51)	ŀ			山内 彰 (52)	-			コミュニティワーク 山内 彰 (53)			
		< 平成28年4月> 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション			< 平成28年4月> 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション I				く平成28年4月> 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション				〈平成30年4月〉 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション			
兼担	教授	英語コミュニケーション Ⅲ 英語コミュニケーション IV	兼担	教授	英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ		兼担		単 英語コミュニケーション Ⅲ 英語コミュニケーション Ⅳ		兼担	教授	ш			
		総合英語IV 総合英語 I			総合英語Ⅳ 総合英語 I				総合英語IV 総合英語 I				総合英語IV 総合英語 I			
		キャリアデザイン※ 山口 美和 (51) <平成28年4月>			キャリアデザイン※ 山口 美和 (51) <平成28年4月>	ŀ			キャリアデザイン※ 山口 美和 (52) <平成28年4月>	-			キャリアデザイン※ 山口 美和 (53) <平成30年4月>			
兼担	教授	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	兼担	教授	基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II		兼担	教授	基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II		兼担	教授	基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II			
		社会学 山本 真紀			社会学 山本 真紀				社会学 山本 真紀				社会学 キャリアデザイン※ 山本 真紀			
兼担	教授	(51) <平成28年4月> 総合教養 I -河内学-※	兼担	教授	(51) <平成28年4月> 総合教養 I -河内学-※		兼担	教授	(52) <平成28年4月> 総合教養 I -河内学-※		兼担	教授	(53) <平成28年4月> 総合教養 I -河内学-※			
		生物学入門 生命科学概論※ 吉田 初恵			生物学入門 生命科学概論※ 吉田 初恵				生物学入門 生命科学概論※ 吉田 初恵				生物学入門 生命科学概論※ 吉田 初恵			
		(56) 《平成28年4月》 総合教養 I -河内学-※			(56) 〈平成28年4月〉 総合教養 I -河内学-※				(57) 《平成28年4月》 総合教養 I -河内学-※				(58) 〈平成28年4月〉 総合教養 I -河内学-※			
兼担	教授	経済学 キャリアデザイン※	兼担	教授	経済学 キャリアデザイン※		兼担	教授	経済学 キャリアデザイン※		兼担	教授	経済学 キャリアデザイン※			
		社会保障論 I 社会保障論 II			社会保障論 I 社会保障論 II				社会保障論 I 社会保障論 II				社会保障論 I 社会保障論 II			
		渡辺 正仁			基礎ゼミナールI基礎ゼミナールI渡辺 正仁	ŀ			基礎ゼミナール I基礎ゼミナール I渡辺 正仁	L			基礎ゼミナールI基礎ゼミナールI渡辺 正仁			
兼担	教授	(67) <平成28年4月> 生命科学概論※	兼担	教授	(67) 《平成28年4月》 生命科学概論※		兼担	教授	(68) <平成28年4月> 生命科学概論※		兼担	教授	(69) <平成28年4月> 生命科学概論※			
兼担	准教授	化学入門 有泉 みずほ (43) <平成28年10月>	兼担	准教授	化学入門 有泉 みずほ (43) <平成28年10月>	ŀ	兼担	准教授	化学入門 有泉 みずほ (44) <平成28年10月>		兼担	准教授	化学入門 有泉 みずほ (45) <平成28年10月>			
		総合教養IV-栄養-※ 池上 徹 (45)			総合教養IV-栄養-※ 池上 徹 (45)	ŀ			総合教養IV-栄養-※ 池上 徹 (46)	-			総合教養IV-栄養-※ 池上 徹 (47)			
兼担	准教授	< 平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界- ※ キャリアデザイン※	兼担	准教授	< 平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ キャリアデザイン※		兼担	准教授	< 平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界- ※ キャリアデザイン※		兼担	准教授	< 平成30年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界- ※ キャリアデザイン※			
					基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールⅡ				基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールI							
											兼担	准教授	加藤 友野 (57) (平成30年4月>			
		一村 小百合			一村 小百合	-			一村 小百合	ŀ			基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールI 一村 小百合			
兼担	准教授		兼担	准教授			兼担	准教授	(52) <平成28年 4 月 > 基礎ゼミナール I		兼担	准教授	(53) 〈平成30年4月〉			
		基礎ゼミナールⅡ レクリエーション論			基礎ゼミナールⅡ レクリエーション論	-			基礎ゼミナールⅡ レクリエーション論				レクリエーション論 久保 信代			
											*	准教授	(49) <平成30年4月> 基礎ゼミナール I			
		加藤 美朗 (55)			加藤 美朗 (55)	}			加藤 美朗 (56)	ŀ			基礎ゼミナールⅡ 加藤 美朗 (57)			
兼担	准教授	< 平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界- ※ 特異的発達障害総論	兼担	准教授	<平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 特異的発達障害総論		兼担	准教授	< 平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界- ※ 特異的発達障害総論		兼担	准教授	<平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界- ※ 特異的発達障害総論			
	l			I		L				L					1	

							,								
専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)		専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任	職名	<就任 (予定) 年月	兼任	職名	<就任 (予定) 年月	兼任	職名	<就任 (予定) 年月		兼任	職名	<就任 (予定) 年月	兼任	職名	<就任 (予定) 年月
の別	404.40	>	の別	柳石	>	の別	柳 仁	>		の別	现石	>	の別	现石	>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		木村 貴彦			木村 貴彦			木村 貴彦				木村 貴彦			
96 AD	Ve. 40, 477	(40) <平成28年4月>	W 40	10.40.470	(40)	***	Ver 445, 470	(41)		養担		(42)			
兼担	准教授	< 平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界-	兼担	准教授	<平成28年4月>	兼担	准教授	<平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界-		末担	教授	< 平成30年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界-			
		*			総合教養Ⅲ-健康の世界-※			*				*			
		澤田 崇子 (54)			澤田 崇子 (54)			澤田 崇子 (55)				澤田 崇子 (56)			
兼担	准教授	<平成28年10月>	兼担	准教授	<平成28年10月>	兼担	准教授	<平成28年10月>		兼担	准教授	<平成28年10月>			
		総合教養Ⅳ-栄養-※			総合教養Ⅳ-栄養-※			総合教養Ⅳ-栄養-※				総合教養Ⅳ-栄養-※			
		治部 哲也			治部 哲也	-		治部 哲也				治部 哲也	-		
		(45)			(45)			(46)				(47)			
		<平成28年4月>			<平成28年4月>			<平成28年4月>				<平成31年4月>			
		総合教養 I -河内学-※			総合教養 I -河内学-※			総合教養 I -河内学-※				総合教養 I -河内学-※			
兼担	准教授	総合教養Ⅳ-栄養-※	兼担	准教授	総合教養Ⅳ-栄養-※	兼担	准教授	総合教養Ⅳ-栄養-※		兼担	教授	総合教養Ⅳ-栄養-※			
		統計学			統計学			統計学				統計学			
		生理心理学			生理心理学			生理心理学				神経・生理心理学			
					総合教養国-健康の世界- ※			総合教養Ⅲ-健康の世界- ※				総合教養Ⅲ-健康の世界- ※			
		鈴木 真			鈴木 真			鈴木 真	l						
		(43) <平成28年4月>			(43) <平成28年4月>			(44)							
								<平成29年4月>							
兼担	准教授	哲学	兼担	准教授	哲学	兼担	准教授	哲学							
		倫理学			倫理学			倫理学							
1				ĺ				キャリアデザイン※	Ιl						
\vdash				l -								久保田 祐歌	—		
1				ĺ			ĺ		Ιl			(43)			
1		<u> </u>		ĺ	<u> </u>		ĺ		Ιl	兼担	***	<平成30年4月>			
1				ĺ			ĺ		Ιl	*12	准教授	哲学			
1				ĺ					Ιl			倫理学			
\vdash		5.7° 5.44	-	<u> </u>	5.7 5 .44	<u> </u>		5# ±#	l l			= 位于			
1		立花 直樹 (46)		ĺ	立花 直樹 (45)			立花 直樹 (46)	Ιl						
1		<平成29年4月>		ĺ	<平成28年4月>		ĺ	<平成29年4月>	Ιl						
兼担	准教授	キャリアデザイン※	兼担	准教授	キャリアデザイン※	兼担	准教授	キャリアデザイン※	l l						
					基礎ゼミナール I			基礎ゼミナール I							
					基礎ゼミナールⅡ			基礎ゼミナールⅡ							
												久保田 祐歌			
												(43) <平成30年4月>			
										兼担	准教授	キャリアデザイン※			
										JR 101	准银铁				
												基礎ゼミナール I			
												基礎ゼミナールⅡ			
					築地 典絵			築地 典絵	l			築地 典絵			
					(47) <平成28年4月>			(48) <平成28年4月>				(49) <平成28年4月>			
			兼担	准教授	○一成20年4月ン 基礎ゼミナール I	兼担	准教授	▲礎ゼミナール I		兼担	准教授	○十成20十4月ン 基礎ゼミナール I			
					基礎ゼミナールⅡ			基礎ゼミナールⅡ				基礎ゼミナールⅡ			
		寺田(田中)明代 (47)													
兼担	准教授	<平成29年10月>													
		精神保健福祉相談援助の 基盤(専門)													
		至三 (41)													
					後任補充(未定)										
					精神保健福祉相談援助の 基盤(専門)										
-					基盤(専門)	-		御前 由美子				御前 由美子	-		
								(56)				(57)			
						兼担	講師	<平成29年10月>		兼担	講師	<平成29年10月>			
								精神保健福祉相談援助の 基盤(専門)				精神保健福祉相談援助の 基盤(専門)			
		中島 裕			中島裕			中島 裕				中島 裕			
1		(51) <平成28年4月>		ĺ	(51) <平成28年4月>		ĺ	(52) <平成28年4月>	Ιl			(53) <平成28年4月>			
1		基礎ゼミナール I		ĺ	基礎ゼミナール I		ĺ	基礎ゼミナール I	Ιl			基礎ゼミナール I			
1				ĺ					Ιl						
兼担	准教授	基礎ゼミナールⅡ	兼担	准教授	基礎ゼミナールⅡ	兼担	准教授	基礎ゼミナールⅡ	Ιl	兼担	准教授	基礎ゼミナールⅡ			
1		総合教養 I -河内学-※		ĺ	総合教養 I -河内学-※			総合教養 I -河内学-※	Ιl			総合教養 I -河内学-※			
1		キャリアデザイン※		ĺ	キャリアデザイン※		ĺ	キャリアデザイン※	Ιl			キャリアデザイン※			
1				ĺ					Ιl						
\vdash		医療ソーシャルワーク			医療ソーシャルワーク			医療ソーシャルワーク	l l			医療ソーシャルワーク	-		
				l	新川 泰弘 (45)				l l						
1					<平成28年4月>		ĺ		Ιl						
1			兼担	准教授	基礎ゼミナール I				Ιl						
1				ĺ	基礎ゼミナールⅡ				Ιl						
\vdash			-	 		-	-	島田 恭仁				島田 恭仁	-		
1				ĺ				(61)	Ιl			(62)			
1				ĺ		兼担	教授	<平成29年4月>	Ιl	兼担	教授	<平成29年4月>			
1				ĺ		*****	***	基礎ゼミナール I	Ιl	A-18	***	基礎ゼミナール I			
1				ĺ				基礎ゼミナールⅡ	Ιl			基礎ゼミナールⅡ			
\vdash		西元(山本)直美		1	西元(山本)直美			西元(山本)直美				西元(山本)直美			
1		(43)		ĺ	(42)			(43)	Ιl			(44)			
1		<平成29年4月>		ĺ	<平成28年4月>			<平成28年4月>	Ιl			<平成28年4月>			
兼担	准教授	キャリアデザイン※	兼担	准教授	キャリアデザイン※	兼担	准教授		Ιl	兼担	准教授	キャリアデザイン※			
1				ĺ	基礎ゼミナール I			基礎ゼミナール I	Ιl			基礎ゼミナール I			
1				ĺ	基礎ゼミナールⅡ			基礎ゼミナールⅡ	Ιl			基礎ゼミナールⅡ			
\vdash		野口 法子	—	 	野口 法子			野口 法子				野口 法子	\vdash		
- AL 7-		(56)	ar 1=		(56)		w	(57)	Ιl	gr 4	VII. 44	(58)			
兼担	准教授	<平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界-	兼担	准教授	<平成28年4月>	兼担	准教授	<平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界-	Ιl	兼担	准教授	<平成28年4月> 総合教養Ⅲ-健康の世界-			
$ldsymbol{ld}}}}}}$		*			総合教養Ⅲ-健康の世界-※			※ ※ でロサモニー に に に に に に に に に に に に に				***・ロ外東山 ** 健康の世界 ** ※			
		馬場 耕造 (66)			馬場 耕造 (66)				[
90.40	准教授	<平成28年10月>	兼担	准教授	<平成28年10月>				Ιl						
兼担			- [ĺ	総合教養Ⅳ-栄養-※				Ιl						
末担		総合教養Ⅳ-栄養-※							. 1		1		1		i
末担		総合教養IV-栄養-※					l								

### 1975 년 19	± /r			# /r			-	± /r			i 6	ts /r			# /T		
10	兼担・		(年 齢)	兼担・		(年 齢)	Ŕ	兼担・		(年 齢)	3	兼担・		(年 齢)	兼担・		氏 名 (年 齢)
日本の日本の日本		職名			職名				職名				職名			職名	<就任(予定)年月 >
## 20	07/11			07/31			ľ	וימ ככ			ľ	וית כו			וימ כט		担当授業科目名
## 100			E31X来14日1	-		E 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	-				▎▐						足当以来行口口
1								**	***	(51)		**	-	(52)			
### 200								寒性	准银纹			寒性	准银纹				
## 20				-		廣島 玲子	H				╽┢						
## 20						(57)				(58)				(59)			
## 200				兼担	准教授			兼担	准教授			兼担	准教授				
## 20																	
## 20			藤原 和美			3 m e < 7 - 70 m	F			■ ₩€	╽┟			■ ₩€			
### 195	※ 4月	准粉焊	(57)														
## 20 (20 (4 A 2)	M III	准拟汉															
## 20 (20 (4 A 2)			*	-		治部 哲也	ŀ			治部 哲也	l ŀ			治部 哲也			
### 2000 475				## 40	***	(45)		***	***	(46)		***	46.44	(47)			
## 19				***	AR WATER			**	AN SECTION			***	WA 132				
## 19				-		※ 曹田(上杉)強子	ŀ			※ 曹田(上杉)強子	l ŀ			*			
### 2000 4月 2 日本 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10						(48)				(49)							
### 19				兼担	准教授			兼担	准教授								
### 2015 1																	
### 2012 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				-		各種セミナールエ	ŀ			書館セミナールエ	l ⊦						
## 2015 1 日本											П			(42)			
展記 千年 (1982年 月)											H	兼担	M 100				
関係											H			基礎ゼミナール I			
### 200 (1970) ### 201 (1970) ###	L		<u> </u>		L						H		L		L	L	
### 4 Page 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			堀田 千絵 (35)			堀田 千絵 (35)	ı				Ιſ						
□	94.4-	· 44 - 44	<平成28年4月>		- Mar			w. i-	- Mary And	<平成28年4月>	H	**		<平成28年4月>			
	兼担	准教授		兼担	准教授	総合教養Ⅲ-健康の世界-※		兼担	准教授	総合教養Ⅲ-健康の世界- ※	H	兼担	准教授	総合教養Ⅲ-健康の世界- ※			
			広汎性発達障害総論			広汎性発達障害総論								広汎性発達障害総論			
			松中《久美子				l						İ			İ	
## 200			(52) 〈平成28年4月〉														
	兼担	准教授	総合教養Ⅲ-健康の世界-	兼担	准教授			兼担	准教授	総合教養Ⅲ-健康の世界-	П	兼担	准教授	総合教養Ⅲ-健康の世界-			
対人関係語 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	. 274 266			A 344	- Janua	人間関係論					H			···			
松本 明文																	
(本) (4(4) (4(4) (4(4) 4) (4(4) 4)				-			ŀ				l ŀ						
展記 3 エニケーション			(46)			(46)				(47)				(48)			
第四 3 3 3 2 3 2 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2																	
東田 電影			I							I				I			
展記 3 ユ ユ ケーション	参担	准数将	П	※担	准数授			養相	准数授	п		養相	##	п			
W			II			英語コミュニケーションⅢ				ш				ш			
##			央語コミュニケーション IV			英語コミュニケーションⅣ				央語コミュニケーション IV				央語コミュニゲーション IV			
山路 様子 (43)			総合英語 Ⅱ			総合英語 II				総合英語Ⅱ				総合英語Ⅱ			
最近 本色は (43)			総合英語Ⅲ			総合英語Ⅲ				総合英語Ⅲ				総合英語Ⅲ			
東田 東田 東田 東田 東田 東田 東田 東田																	
	****	100 00 000	<平成28年4月>	****	100 000 000	<平成28年4月>		****	100.00.00	<平成28年4月>		****	160 401 400	<平成28年4月>			
東京 特別 (39)	末担	准纵按	総合教養Ⅳ-栄養-※	末担	准叙按	総合教養Ⅳ-栄養-※		末担	准敦技	総合教養Ⅳ-栄養-※		末担	准教授	総合教養Ⅳ-栄養-※			
(3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4																	
全甲成28年4月> 基礎セミナール 表担 議所 基礎セミナール 表担 表担 表担 まやリアデザイン※ 本・リアデザイン※ 本・リアデザイン※ 本・リアデザイン※ 本・リアデザイン※ 表担 表担 表担 表担 表担 表担 表担 表			家高 将明 (39)			家高 将明 (39)				家高 将明 (40)				家高 将明 (41)			
##																	
### #################################			基礎ゼミナール I			基礎ゼミナール I				基礎ゼミナール I							
### 法令	兼担	講師	基礎ゼミナールⅡ	兼担	講師	基礎ゼミナールⅡ		兼担	准教授	基礎ゼミナールⅡ		兼担	准教授				
大会報報問題			キャリアデザイン※			キャリアデザイン※				キャリアデザイン※							
大会報報問題											H			社会福祉原論 I			
大田 特別 1											H						
###	\vdash	-		\vdash	 		ŀ		-		-				-		
大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田											H			(51)			
本報ではテール											H	兼担	28.66			1	
#担											H						
#担 本本リアデザイン※ 本担 本担 本担 本担 本担 本担 本担 本							L				l L						
#担 講師 本ではファデザイン※ *** *******************************											H			山口 美和 (53)			
小口 将典 (36)											H	兼担	教授				
(36)											H			キャリアデザイン※			
※担 講師 ※担 講師 ※担 講師 ※担 講師 ※担 講師 ※担 講師 ※担 講師 ※担 素担 ※担 素担 ※担 素投 ※担 素担 ※担 素投 ※担 素担 ※担 素投 ※担 素担 ※担 素投 ※担 素投 ※担 素投 ※担 素投 ※担 素検 ※担 素投 ※担 素検 ※担 素投 ※担 素検 ※担 素表 ※担 素検 ※担 素表 ※担 素検 ※担 素表 ※担 素表 ※担 素表 ※担 素表 ※担 素表 ※担 素表 ※担 素表 ※担 素表 ※担 またします ※担 またします											l t						
※担 講師 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 表礎ゼミナール I キャリアデザイン※ キャリアデザイン※ 横木 志津江 (41) (41) (平成28年4月) 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 本収28年4月) 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I キャリアデザイン※ 業組 複数表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表											H						
基礎ゼミナール目 本ャリアデザイン※ 基礎ゼミナール目 本ャリアデザイン※	兼担	講師		兼担	講師			兼担	准軟提		H						
### ### #############################			基礎ゼミナールⅡ			基礎ゼミナールⅡ		-		基礎ゼミナールⅡ	H						
### ####											H		1				
#担							-			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1 H		 	伊藤 利服	-	 	
#担 講師 本では ***********************************											H		1	(66)			
### ### ### ### #### #### #### ##### ######											H	兼担	教授				
株木 志津江 (41)											H		1				
(41) (43) (平成28年 4 月) 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I キャリアデザイン※ 本ャリアデザイン※ (43) (平成30年 4 月) 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I **** *** *** *** ** ** ** **				<u> </u>			L				ΙL						
《平成28年4月》 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I キャリアデザイン※ ※担 本機 ※担 本機 ※担 本機 ※担 本機 ※担 ※ ※ ※											Ιſ		l	(43)			
兼担 講師 基礎ゼミナールⅡ 業担 本軟長 基礎ゼミナールⅡ 業担 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※ キャリアデザイン※ ** ** ** **			<平成28年4月>			<平成28年4月>				<平成28年4月>	H			<平成30年4月>			
参照により一ル	20.40	*** ^~	基礎ゼミナール I	geim				36.40		基礎ゼミナール I	H	**					
	承担	部部	基礎ゼミナールⅡ	兼担	准製技	基礎ゼミナールⅡ		本担	在製技	基礎ゼミナールⅡ	H	本担	准製技				
			キャリアデザイン※			キャリアデザイン※					H						
											H			障害者福祉論 I			
					•	•	L				. L		•		<u></u>	•	

+ 1-	1		+ 1-			13	- lor			-	- 1-			+ 100		
専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	兼	存任・ 使担・		氏 名 (年 齢)	兼	厚任・ 東担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月 >	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月 >		€任 O別	職名	<就任(予定)年月 >		東任 D別	職名	<就任(予定)年月 >	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		1				ľ			鈴木 真 (44)	ı						
							兼担	准教授	<平成29年4月>							
						L			キャリアデザイン※	L						
													藤岡 弘季 (47)			
											兼担	教授	<平成30年4月>			
													基礎ゼミナール I			
					川村 小千代	F			川村 小千代	F			基礎ゼミナールII 川村 小千代		<u> </u>	
			兼担	勝何	(46) <平成28年4月>		兼担	納何	(47) 〈平成28年4月〉		兼担	納何	(48) 〈平成28年4月〉			
					総合教養軍-健康の世界- ※				総合教養亚-健康の世界- ※	L			総合教養Ⅲ-健康の世界- ※			
					香田 健治 (50)				番田 健治 (51)				香田 健治 (52)			
			兼担	納何	<平成28年4月> 基礎ゼミナールI		兼担	網師	<平成28年4月> 基礎ゼミナールI		兼担	納何	<平成28年4月> 基礎ゼミナールI			
					基礎ゼミナールエ				基礎ゼミナールエ				基礎ゼミナールエ			
					辻 陽子	F				H						
					(50) <平成28年4月>											
			兼担	講師	基礎ゼミナール I											
					基礎ゼミナールⅡ	L				L						
					7				塩津 裕康 (32)	1]			
							兼担	助軟	<平成29年4月> 基礎ゼミナールI							
									基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールⅡ							
-					-	┢			-RC-1-NI	F			北岡 かおり	-	 	
													- 10回 かあり (35) <平成30年4月>			
											兼担	鏡師	基礎ゼミナール I			
													当機ゼミナールI 基礎ゼミナールII			
					鼓 美紀	ŀ				F					<u> </u>	
					(39) <平成28年4月>											
			兼担	講師	基礎ゼミナール I											
					基礎ゼミナールⅡ	L			eta da Sile	L			eta da Sile		ļ	
									中山 淳 (37)				中山 淳 (38)			
							兼担	助教	<平成29年4月> 基礎ゼミナールI		兼担	助教	<平成29年4月> 基礎ゼミナールI			
									基礎ゼミナールⅡ				基礎ゼミナールⅡ			
		津吉 哲士			津吉 哲士	F			津吉 哲士	H			津吉 哲士			
		(43) <平成28年10月>			(43) <平成28年10月>				(44) <平成28年10月>				(45) <平成30年4月>			
兼担	講師	総合教養Ⅳ-栄養-※	兼担	講師	総合教養Ⅳ-栄養-※		兼担	講師	総合教養Ⅳ-栄養-※		兼担	講師	総合教養Ⅳ-栄養-※			
													基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールⅡ			
		西村 節子 (58)			西村 節子 (58)	F			西村 節子 (59)	f			西村 節子			
兼担	講師	<平成28年10月> 総合教養Ⅱ-「こころ」に	兼担	講師	<平成28年10月> 総合教養Ⅱ-「こころ」に		兼担	***	<平成29年4月> 総合教養Ⅱ-「こころ」に		兼担	***	(60) <平成29年4月> 総合教養II-「こころ」に			
NIN 2		ついて学ぶ-※	NA.2		ついて学ぶ-※				ついて学ぶ-※				ついて学ぶ-※			
		総合教養Ⅳ-栄養-※ 松村 歌子			総合教養IV-栄養-※ 松村 歌子	F			総合教養IV-栄養-※ 松村 歌子	F			総合教養IV-栄養-※ 松村 歌子			
		(40) <平成28年4月>			(40) 〈平成28年4月〉				(41) 〈平成28年4月〉				(42) 〈平成28年4月〉			
		総合教養Ⅲ-健康の世界-			総合教養Ⅲ-健康の世界-※				総合教養Ⅲ-健康の世界- ※				総合教養Ⅲ-健康の世界- ※			
		法学			法学				法学				法学			
兼担	講師	日本国憲法	兼担	准教授	日本国憲法		兼担	准教授	日本国憲法		兼担	准教授	日本国憲法			
		キャリアデザイン※			キャリアデザイン※				キャリアデザイン※				キャリアデザイン※			
					基礎ゼミナール I				基礎ゼミナール I	ĺ						
					基礎ゼミナールⅡ	L			基礎ゼミナール II	1					<u></u>	
						ſ				Γ			津吉 哲士 (45)			
											兼担	鉄師	〈平成30年4月〉			
													基礎ゼミナール I			
					# M. P.	L			# 14 po	L			基礎ゼミナールⅡ	<u> </u>	<u> </u>	
					森 尚彫 (42) <17 ch 20 年 4 日 >				森 尚彫 (43) (Wは20年4日)							
			兼担	講師	<平成28年4月> 基礎ゼミナールI		兼担	納何	<平成28年4月> 基礎ゼミナールI							
					基礎ゼミナールⅡ				基礎ゼミナールII							
						ŀ				F			有末 伊徽	-	 	
													(34) 〈平成30年4月〉			
											兼担	助教	基礎ゼミナール I			
L	L	<u> </u>		L	<u> </u>						_		基礎ゼミナールⅡ		L	<u> </u>
					由利 禄巳 (51)	Ţ			由利 禄巳 (52)	Ţ						
			兼担	講師	<平成28年4月>		兼担	納何	<平成28年4月>							
					基礎ゼミナール I				基礎ゼミナール I							
			-		基礎ゼミナールⅡ	}			基礎ゼミナールⅡ	-			酒井 希代江		 	
													相升 布代丘 (38) <平成30年4月>			
											兼担	脾師	本機ゼミナール I			
													基礎ゼミナールⅡ			
	ı	1	<u> </u>	1	ıl	L				L				<u> </u>		<u> </u>

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 >	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	兼兼	任・ 担・ 任)別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	┝			担当授業科目名 砂川 耕作 (35) <平成30年4月>			担当授業科目名
		安藤 公一			安藤 公一			安藤 公一	_	兼担	助教	基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールI 安藤 公一			
兼任	講師	(59) 〈平成28年10月〉 現代史	兼任	講師	(59) 《平成28年10月》 現代史	兼任	講師	(60) <平成28年10月> 現代史	3	兼任	講師	(61) <平成28年10月> 現代史			
兼任	講師	キャンベル (57) <平成28年4月> オーラルコミュニケー ション													
		737	兼任	禁師	機略 恵子 (51) <平成28年4月> オーラルコミュニケー										
						兼任	跳師	新庄谷 洋子 (59) <平成29年4月> オーラルコミュニケー ション	3	兼任	跳師	新庄谷 洋子 (60) 〈平成29年4月〉 オーラルコミュニケー ション			
兼任	講師	一柳(葛井)直子 (47) 〈平成28年4月〉 政治学 国際関係論	兼任	講師	一柳 (葛井) 直子 (47) < 平成28年4月> 政治学	兼任	講師	一柳(葛井)直子 (48) <平成28年4月> 政治学 国際関係論	3	兼任	講師	一柳(葛井)直子 (49) 〈平成28年4月〉 政治学 国際関係論			
兼任	講師	岩原 昭彦 (46) 〈平成30年4月〉 神経心理学 江端 源治	兼任	講師	岩原 昭彦 (44) <平成30年4月> 神経心理学 江端 源治	兼任	講師	岩原 昭彦 (45) <平成30年4月> 神経心理学 江端 源治		兼任	講師	岩原 昭彦 (46) 〈平成30年4月〉 神経心理学 江端 源治			
兼任	講師	11.4mm 原元 (57) (下成28年4月> 総合教養 I - 河内学-※ 総合教養 I - 「こころ」に ついて学ぶ-※	兼任	講師	江崎 源石 (57) <平成28年4月> 総合教養 I - 河内学-※ 総合教養 II - 「こころ」に ついて学ぶ-※	兼任	講師	江 晴 源石 (58) 〈平成28年4月〉 総合教養 I - 河内学-※ 総合教養 II - 「こころ」に ついて学ぶ-※	1	兼任	講師	11.4幅 原/店 (59) 〈平成28年4月〉 総合教養I-河内学-※ 総合教養I-「こころ」に ついて学ぶ-※			
兼任	講師	大江 篤 (55) 〈平成28年4月〉 外国史 太田 直希	兼任	講師	大江 篤 (55) 〈平成28年4月〉 外国史	兼任	講師	大江 篤 (56) 〈平成28年4月〉 外国史		兼任	講師	大江 篤 (57) 〈平成28年 4 月〉 外国史			
兼任	講師	(27) 《平成28年 4 月》 保健体育													
			兼任	2616	山崎 英幸 (50) 〈平成28年4月〉 保備体育										
						兼担	跳師	西川 潔 (59) 〈平成29年4月〉 保健体育	3	兼担	跳師	西川 潔 (60) 〈平成29年4月〉 保健体育			
			兼任	計解	三村 建也 (49) <平成28年10月> 体育実技	兼任	講師	三村 建也 (50) 〈平成28年10月〉 体育実技	3	兼任	28.66	三村 達也 (51) 〈平成28年10月〉 体育実技			
兼任	講師	大又 巧也 (42) <平成28年4月> 情報処理学I 情報処理学I	兼任	講師	大又 巧也 (42) 〈平成28年4月〉	兼任	講師	大又 巧也 (43) 〈平成28年4月〉							
		コンピュータサイエンス			コンピュータサイエンス			コンピュータサイエンス	-	兼担	教授	水鳥 正二郎 (54) <平成30年4月>			
			兼任	数额	大森 幸事 (39) 《平成28年4月》 情報処理学I	兼任	動師	大森 幸事 (40) 〈平成28年4月〉 情報処理学I	3	兼任	講師	コンピュータサイエンス 大森 幸享 (41) <平成28年4月> 情報処理学I			
兼任	講師	尾崎 勝彦 (59) <平成31年10月> 高齢者心理学	兼任	講師	情報処理学工 尾崎 勝彦 (56) <平成31年10月> 高齢者心理学	兼任	講師	情報処理学 I 尾崎 勝彦 (57) <平成31年10月> 高齢者心理学]	兼任	講師	情報処理学工 尾崎 勝彦 (58) <平成31年10月> 高齢者心理学			
			蒙任	計師	加藤 典子 (51) 《平成28年4月》 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション	兼任	鉄師	加藤 典子 (52) 《平成28年4月》 美語コミュニケーション I 美語コミュニケーション		兼任	納師	加藤 典子 (53) <平成28年4月> 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション			
兼任	講師	加納 光子 (72) <平成29年10月> 精神保健学 I 精神保健学 I 精神保健学 I	兼任	講師	加納 光子 (71) 《平成29年10月》 精神保健学 I 精神保健学 I 精神保健学 I	兼任	講師	加納 光子 (72) <平成29年10月> 精神保健学 I				1			
		論Ⅱ	\vdash		Ⅱ	専任	准教授	木村 志保 (48) 〈平成29年10月〉 精神集體福祉援助技術各 輸用	-	専任	准教授	木村 志保 (49) 〈平成29年10月〉 精神保健福祉援助技術各 論Ⅱ			
								-		兼任	18 M	金 文美 (51) 〈平成30年4月〉 精神保健学 I			
									L			精神保健学工	L		

		_				-		_			,				
専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任 兼担	∃ •	氏 名 (年 齢)		専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・		氏名(年齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月 >	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月 >	兼任の別		<就任(予定): >	年月	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月 >	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目	名			担当授業科目名			担当授業科目名
					JI □ M (50)			JII □ ■ (51)				ЛП М (52)			
					<平成28年4月> 美語コミュニケーション			< 平成29年4月 英語コミュニケーシ				<平成28年4月> 英語コミュニケーション			
			兼任	講師	I 英語コミュニケーション		任 講師	I 英語コミュニケーシ	32	兼任	講師	I 英語コミュニケーション			
					п			II 英語コミュニケーシ	3 2			II 英語コミュニケーション			
								英語コミュニケーシ	= >			単 英語コミュニケーション			
		木村 年晶 (43)			木村 年晶 (42)										
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>										
		心理学基礎実験実習 I ※ 心理学基礎実験実習 I ※			心理学基礎実験実習 I ※ 心理学基礎実験実習 I ※										
		o-1 / Employed = M	-		o a , a service a ser	H		林 美恵子 (45)				林 美恵子 (46)	-		
							任調	<平成29年4月		兼任	勝師	<平成30年4月>			
								心理学基礎実験実習 心理学基礎実験実習				心理学実験 I ※ 心理学実験 I ※			
		久保 信代	-		久保 信代	H	-	久保 信代		-		久保 信代	-		
兼任	講師	(49) <平成30年10月>		准教授	(47) <平成28年4月>	1	准		1>		准教授				
		心理学外書講読 小林 和代	-		心理学外書講読 小林 和代	L		心理学外書講読 小林 和代				心理学外書講読 小林 和代			
		(51) 〈平成28年4月〉			(51) 〈平成28年4月〉			(52)	.			(53)			
兼任	講師	中国語 I	兼任	講師	中国語 I	兼	任 講自	中国語 I	1/	兼任	講師	中国語 I			
		中国語 I			中国語Ⅱ			中国語 I	本			中国語 I			
1		佐伯(豊田)恵里奈 (41) <平成29年4月>			佐伯(豊田)恵里奈 (40) <平成29年4月>			佐伯(豊田)恵里 (41) <平成29年4月				佐伯(豊田)恵里奈 (42) <平成30年4月>			
兼任	講師	○平成29年4月> 心理学基礎実験実習Ⅰ※	兼任	講師	心理学基礎実験実習 I ※	兼	任 講館	心理学基礎実験実習		兼任	講師	心理学実験 I ※			
1		心理学基礎実験実習Ⅱ※			心理学基礎実験実習Ⅱ※			心理学基礎実験実習	п*			心理学実験Ⅱ※			
		坂下 晃祥 (46)			坂下 晃祥 (45)				\Box						
兼任	講師	< 平成29年4月> 精神科リハビリテーショ	兼任	講師	<平成29年4月> 精神科リハビリテーション				\dashv						
1		ン学 I 精神科リハビリテーショ			学 I 精神科リハビリテーション										
		ン学Ⅱ			学Ⅱ	\vdash	-	辻 陽子	-			社_陽子	-		
						١.		(51) <平成29年4月		***		(52) <平成29年4月>			
						*	担解	ン学Ⅰ		兼担	講師	精神科リハビリテーション学Ⅰ			
		雷旺 伽			季野 6 0			精神科リハビリテー ン学Ⅱ (学取) 6h	·93			精神科リハビリテーション学工 赤 町 6h			
		重野 勉 (60) <平成29年4月>			重野 勉 (59) <平成29年4月>			重野 勉 (60) <平成29年4月	.			重野 勉 (61) <平成29年4月>			
兼任	講師	スール20千4月ン 精神保健福祉に関する制 度とサービス I	兼任	講師	精神保健福祉に関する制度 とサービスI	兼	任 講自	精神保健福祉に関す 度とサービスI	る制	兼任	講師	マール20千 4 月ン 精神保健福祉に関する制度とサービス I			
		精神保健福祉に関する制 度とサービス Ⅱ			精神保健福祉に関する制度 とサービスⅡ			精神保健福祉に関す 度とサービスⅡ				精神保健福祉に関する制 度とサービスⅡ			
		宿谷(金児)仁美 (45)			宿谷(金児)仁美(44)			宿谷(金児)仁 (45)				宿谷(金児)仁美 (46)			
兼任	講師	<平成29年4月> 外国語で親しむ心理学	*	講師	< 平成28年4月> 外国語で親しむ心理学	1	講自	〈平成28年4月 外国語で親しむ心理:		*	講師	<平成28年4月> 外国語で親しむ心理学			
		関口 靖之	-		関口 靖之	H	-	関口 靖之		-		関口 靖之 (60)	-		
兼任	講師	(58) <平成28年10月>	兼任	講師	(58) <平成28年10月>	兼	任 講館	(59) <平成28年10月	>	兼任	講師	<平成28年10月>			
		^{地理学} 高木 信良	-		^{地理学} 高木 信良	L		地理学				地理学	-		
兼任	講師	(67) 〈平成28年4月〉	兼任	講師	(67) <平成28年4月>										
		体育実技			体育実技										
						١.		石川 美久 (37)				石川 美久 (38)			
						*	任期的	<平成29年10月 体育実技	1>	兼任	納師	<平成29年10月> 体育実技			
		谷 寿夫 (64)			谷 寿夫 (62)			谷 寿夫 (63)	ᅦ						
兼任	講師	<平成30年10月>	兼任	講師	<平成30年10月>	兼	任 講自	<平成30年10月	>						
-		社会福祉学	-		社会福祉学	\vdash	+	社会福祉学	\dashv			鴻上 圭太	-		
1										兼任	講師	(44) 〈平成32年10月〉			
									一			福祉心理学			
		玉置 良行 (49)			玉置 良行 (49)			玉置 良行 (50)	\exists			玉置 良行 (51)			
兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼	任 講自	✓ 巫成28年 4 日	>	兼任	講師	(31) <平成28年4月> フランス語 I			
1		フランス語 I フランス語 II			フランス語 II			フランス語I				フランス語 I			
					中戸 一子 (68)			中戸 一子 (69)				中戸 一子 (70)			
					〈平成28年4月〉 美語コミュニケーション			く平成29年4月 英語コミュニケーシ	> -			(70) <平成29年4月> 英語コミュニケーション			
			兼任	撤解	失品コミュニケーション I 英語コミュニケーション		任調用	I 英語コミュニケーシ		兼任	跳師	美田コミュニケーション I 英語コミュニケーション			
					ı ı			I 英語コミュニケーシ				I 英語コミュニケーション			
								車 英語コミュニケーシ	·ョン			II 英語コミュニケーション			
		中谷 聡			中谷 聡	\vdash		中谷 聡	一			P谷 聡 (43)			
兼任	講師	(41) <平成28年4月>	兼任	講師	(41) <平成28年4月>	兼	任 講館	(42) <平成28年4月	>	兼任	講師	<平成28年4月>			
		情報処理学 I 情報処理学 II			情報処理学 I 情報処理学 II			情報処理学 I 情報処理学 II				情報処理学 I 情報処理学 II			
					波能 溝 (62)	\vdash		波能 満 (63)	一			波能 満 (64)			
					(02) <平成28年4月> 英語コミュニケーション			<平成29年4月	1>			〈平成29年4月〉			
			兼任	計算	失語コミュニケーション I 英語コミュニケーション		任 講師	,		兼任	素質				
					1			英語コミュニケーシ	ョン			英語コミュニケーション			
								II 英語コミュニケーシ				II 英語コミュニケーション			
Щ		1		<u> </u>	1	_		N.			<u> </u>	TA.		l]

+ 1-			+ 15	1		+ 1-				+ 1-			+ 100		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	數師	新圧谷 洋子 (59) 《平成29年4月》 美語コミュニケーション 1 美語コミュニケーション 重 第四ミュニケーション 1 英語コミュニケーション		兼任	at in	新庄谷 洋子 (60) 《平成29年4月》 美麗コミュニケーション I 美麗コミュニケーション II 美麗コミュニケーション II			
					藤原 由美			藤原由美				藤原 由美			
					(39) <平成28年4月> 英語コミュニケーション			(40) 〈平成29年4月〉 英語コミュニケーション I				(41) 〈平成29年4月〉 英語コミュニケーション I			_
			兼任	講師	英語コミュニケーション T	兼任	講師	英語コミュニケーション T		兼任	糖師	英語コミュニケーション T			
								- 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション				- 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション			
		正木(大又)みき	-		正木(大又)みき			▼ 正木(大又)みき	-			▼ 正木(大又)みき			
		(47) <平成28年 4 月>			(47) <平成28年4月>			(48) <平成28年4月>				(49) <平成28年4月>			
		英語コミュニケーション			英語コミュニケーション I			英語コミュニケーション				英語コミュニケーション			
兼任	講師	1 英語コミュニケーション	兼任	講師	英語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	I 英語コミュニケーション		兼任	講師	I 英語コミュニケーション			
		Ⅱ 英語コミュニケーション Ⅲ			英語コミュニケーションⅢ			Ⅱ 英語コミュニケーション Ⅲ				Ⅱ 英語コミュニケーション Ⅲ			
		英語コミュニケーション Ⅳ			英語コミュニケーションⅣ			英語コミュニケーション Ⅳ				英語コミュニケーション Ⅳ			
			兼任	18 NG	松浦 弘司 (68) 〈平成28年4月〉 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション I	兼任	mm	松浦 弘司 (69) 〈平成29年4月〉 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション		兼任	25.00	松浦 弘司 (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70)			
								III 英語コミュニケーション				エ 英語コミュニケーション			
-		的場 輝佳		<u> </u>	的場 輝佳			的場 輝佳	-			的場 輝佳		 	
兼任	講師	(73) <平成28年4月>	兼任	講師	(73) <平成28年4月>	兼任	講師	(74) <平成28年4月>		兼任	講師	(75) <平成28年4月>			
217.126		総合教養 I -河内学-※	Part lab		総合教養 I -河内学-※			総合教養 I -河内学-※				総合教養 I -河内学-※			
		御前 由美子			御前 由美子			御前 由美子				御前 由美子			
兼任	講師	(56) <平成29年4月> 精神保健福祉援助技術各 論 I 精神障害者の生活支援シ ステム	兼担	講師	(55) <平成29年4月> 精神保健福祉援助技術各論 I 精神障害者の生活支援システム	兼担	講師	(56) (平成29年10月) 精神保健福祉援助技術各 論 I 精神障害者の生活支援シ ステム 森神保候福祉相談援助の 基盤(専門)		兼担	講師	(57) 《平成29年10月》 精神保健福祉援助技術各議1 精神障害者の生活支援システム 編神保候福祉相談援助の 基盤(専門)			
												後任補充(未定)			
												関係行政論			
								1	L						

- (注)・申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。** ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の選车誌**を記入してください。
 ・ 専任、兼担、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

【平成28年度】

・久保信代について、教育指導体制の充実及び見直しのため専任准教授として採用し「心理学外書講読」を担当。 専任准教授 渡部(神谷)敦子の退職に伴い、専任講師 竹橋 洋毅を後任補充。 宿谷(金児)仁美について、教育指導体制の充実及び見直しのため専任講師として採用し「外国語で親しむ心理学」を担当。 ・兼担教授 甲斐悟について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールI、II」の担当教員として追加。 ・兼担教授 齋藤千鶴の就任辞退に伴い、「社会福祉概論」の担当教員を兼任講師 鴻上圭太に変更。 ・兼扣教授 杉本敏夫の退職に伴い職名が兼任護師へ変更。 ・兼担教授 長見まき子について、教育内容の充実を図るため、「総合教養Ⅲ-健康の世界-※」の担当教員を兼担教授 福田早苗に変更。 ・兼担教授 平田まりの退職に伴い、「総合教養亚-健康の世界-※」の担当教員を兼担教授 藤岡弘季に変更。 ・兼担教授 吉田初恵について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールI、II」の担当教員として追加。 ・兼担准教授 池上徹について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールI、II」の担当教員として追加。 ・兼担准教授 藤原和美の退職に伴い、兼担准教授 治部哲也の担当科目として「総合教養皿-健康の世界-※」を追加。 ・兼担准教授 立花直樹について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールI、II」の担当教員として追加。 ・兼担准教授 築地典絵について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールI、Ⅱ」の担当教員として追加。 ・兼担准教授 寺田(田中)明代の退職に伴い、開講時までに「精神保健福祉相談援助の基盤(専門)」の後任補充予定。 兼担准教授 新川泰弘について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナール \mathbb{I} 、 \mathbb{I} 」の担当教員として追加。 兼担准教授 西元(山本)直美について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。 兼担准教授 廣島玲子について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。 ・兼担准教授 廣島玲子について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。 ・兼相准教授 藤原和美の退職に伴い、兼相准教授 治部哲也の担当科目として「総合教養Ⅲ-健康の世界-※」を追加。 ・兼担准教授 寶田(上杉)玲子について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールI、IIIの担当教員として追加。 ・兼扣講師 柿太志津江が准教授に昇任。 ・兼担講師 川村小千代「総合教養亚-健康の世界-※」について、教育内容の充実を図るため、オムニバス担当教員として追加。 ・兼担講師 香田健治について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールI、II」の担当教員として追加。 ・兼担講師 辻陽子について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。 ・兼担講師 鼓美紀について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。 ・兼担講師 松村歌子が准教授に昇任。全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールI、IIIの担当教員として追加。 ・兼担講師 森尚彫について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。 ・兼担講師 由利禄巳について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールI、I」の担当教員として追加。 ・兼任講師 イアン・ハリス・キャンベルの就任辞退に伴い、「オーラルコミュニケーション」の担当者を兼任講師 磯崎恵子に変更。 兼任講師 太田直希の就任辞退に伴い、「保健体育」の担当者を兼任講師 山崎英幸に、「体育実技」を兼任講師 三村達也に変更。 ·兼任講師 大又 巧也の一部就任辞退に伴い、「情報処理学 I、II」の担当者を兼任講師 大森幸享に変更。 ・兼任講師 加藤典子について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。 ・兼任講師 川口剛について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションI、Ⅱ」の担当教員として追加。 ・兼任講師 久保信代について、教育指導体制の充実及び見直しのため専任准教授として採用し「心理学外書講読」を担当。 ・兼任講師 宿谷(金児)仁美について、教育指導体制の充実及び見直しのため専任講師として採用し「外国語で親しむ心理学」を担当。 ・兼任講師 中戸一子について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションI、II」の担当教員として追加。 ・兼任講師 波能満について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションI、II」の担当教員として追加。 ・兼任講師 藤原由美について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーション I、II」の担当教員として追加。 ・兼任護師 松浦弘司について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションI、IIIの担当教員として追加。 ・兼任護師 御前中羊子について、社会福祉学科の専任教員として採用されたことに伴い兼担に変更。

【平成29年度】

- ・専任教授 山田冨美雄について、専門分野ごとの開講クラス数調整のため、「基礎ゼミナールⅣ」の担当教員を専任教授 相谷登に変更。
- ・専任教授 山田冨美雄について、専門分野ごとの開講クラス数調整及び教育指導体制の充実のため、「基礎ゼミナールⅢ」「心理学基礎実験実習Ⅱ※」の担当教員として追加。
- ·専任教授 相谷登について、授業運営体制の見直しに伴い「基礎ゼミナールI、I」を担当科目より削除。後任補充なし。
- ・専任教授 相谷登について、専門分野ごとの開講クラス数調整のため、「基礎ゼミナール亚」の担当教員を専任教授 山田冨美雄に変更。
- ・専任教授 相谷登について、専門分野ごとの開講クラス数調整のため、「基礎ゼミナールIV」の担当教員として追加。
- ·専任教授 宇惠弘について、教育指導体制の充実のため、「心理学基礎実験実習 I ※」の担当教員として追加。
- ・専任教授 櫻井秀雄について、教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理学実践領域実習 I ※」の担当教員を専任教授 谷向みつえに変更。
- ・専任教授 谷向みつえについて、教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理学実践領域実習 I ※」の担当教員として追加。
- ・専任講師 木村志保が准教授に昇任。兼任講師 加納光子の就任辞退に伴い「精神保健福祉援助技術各論Ⅱ」を担当科目として追加。
- ・専任講師 竹橋洋毅について、教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理学実践領域実習I※」を担当科目として追加。
- ・専任講師 津田恭充について、教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理学実践領域実習Ⅰ※」の担当教員を専任講師 竹橋洋毅に変更。
- ・兼担教授 志水秀郎の退職に伴い、「総合教養Ⅳ-栄養-※」の担当教員を兼担教授 中村敏子に変更
- ・兼担教授 宮野安治の就任辞退に伴い担当科目を削除。現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・兼担教授 森明彦の退職に伴い、担当教員を兼任講師 森明彦に変更。
- ・兼担准教授 鈴木真について、柿木志津江の就任辞退に伴い「キャリアデザイン※」を担当科目として追加。
- ・兼担准教授 寺田(田中)明代の退職に伴い、「精神保健福祉相談援助の基盤(専門)」の担当者を兼担講師 御前由美子に変更。
- ・兼担准教授 新川泰弘の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールI、II」の担当者を兼担教授 島田恭仁に変更。

```
    ・兼担准教授 馬場耕造の退職に伴い、「総合教養IV-栄養-※」の担当者を兼担准教授 坂口充弘に変更。
    ・兼担講師 家高将明が准教授に昇任。
    ・・兼担講師 小口得典が准教授に昇任。
```

- ・兼担講師 柿木志津江の就任辞退に伴い、「キャリアデザイン※」の担当者を兼担准教授 鈴木真に変更。
- ・兼担講師 辻陽子の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼担助教 塩津裕康に変更。
- ・兼担講師 鼓美紀の退職に伴い、「基礎ゼミナールI、II」の担当者を兼担助教 中山淳に変更。
- 兼担講師 西村節子が准教授に昇任。
- ・兼任講師 磯崎恵子の就任辞退に伴い、「オーラルコミュニケーション」の担当者を兼任講師 新庄谷洋子に変更。
- ・兼任講師 山崎英幸の就任辞退に伴い、「保健体育」の担当者を兼担講師 西川潔に変更。
- ・兼任講師 加納光子の就任辞退に伴い、「精神保健福祉援助技術各論Ⅱ」の担当者を専任准教授 木村志保に変更。
- ・兼任護師 川口剛について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、IVIの担当教員として追加。
- ・兼任講師 木村年晶の就任辞退に伴い、「心理学基礎実験実習 I、I※」の担当者を兼担講師 林美恵子に変更。
- ・兼任講師 坂下晃祥の就任辞退に伴い、「精神科リハビリテーション学I、II」の担当者を兼担講師 辻 陽子に変更。
- ・兼任講師 高木信良の就任辞退に伴い、「体育実技」の担当者を兼任講師 石川美久に変更。
- ・兼任講師 中戸一子について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、IV」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 液能満について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 波能満の就任辞退及び全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションI、Ⅱ」の担当者を兼任講師 新庄谷洋子に変更。
- ・兼任講師 新庄谷洋子について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーション $oxdotup{\Gamma}$ 、 $oxdotup{\Gamma}$ 」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 藤原由美について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 松浦弘司について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、IV」の担当教員として追加。
- ・兼担准教授 寺田(田中)明代の退職に伴い、「精神保健福祉相談援助の基盤(専門)」の担当者を兼担講師 御前由美子に変更。

【平成30年度】

- ・専任教授 山田冨美雄について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「健康心理学」を「健康・医療心理学」に、「心理学基礎実験実習Ⅱ※」を「心理学実験Ⅱ※」に名称変更。
- ・専任教授 山田冨美雄について、公認心理師受験資格対応のため「公認心理師の職責」を新設し担当科目に追加。
- ・専任教授 相谷登について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「人格(性格)心理学」を「感情・人格心理学」に名称変更。
- ・専任教授 相谷登について、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習I※」を「心理演習I※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 相谷登について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 栗村(佐野)昭子について、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理アセスメント実習 I ※」を「心理的アセスメント I ※」に名称変更のうえ、担当教員を専任准教授 竹橋洋穀に変更。
- ・専任教授 粟村(佐野)昭子について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「臨床心理学」を「臨床心理学概論」に名称変更。
- ・専任教授 栗村(佐野)昭子について、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い「心理アセスメント実習Ⅱ※」を「心理的アセスメントⅡ※」に名称変更のうえ、担当科目に追加。
- 専任教授 栗村 (佐野)昭子について、公認心理師突験資格対応に伴い「心理学実践領域実習 I ※」を「心理演習 I ※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 栗村(佐野)昭子について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- 東任松授 宇惠弘について、公認心理師受験責格対応のため担当科目「教育心理学」を「教育・学校心理学」に、「心理統計法I」を「心理学統計法I」に、「心理学基礎実験実習I※」を「心理学実験I※」に
- ^在が東東。 ・専任教授 柏木雄次郎について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「医学概論」を「人体の構造と機能及び疾病」に、「精神医学概論」を「精神疾患とその治療」に名称変更。
- ・専任教授 柏木雄次郎について、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習1※」を「心理演習1※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 柏木雄次郎について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 櫻井秀雄について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「障害児(者)心理学」を「障害者・障害児心理学」に、「心理アセスメント実習Ⅱ※」を「心理的アセスメントⅡ※」に名称変更。
- ・専任教授 櫻井秀雄について、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習 I ※」を「心理演習 I ※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 櫻井秀雄について、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い「心理学実践領域実習Ⅱ※」を「心理演習Ⅱ※」に名称変更のうえ、担当科目に追加。
- ・専任教授 櫻井秀雄について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 島井哲志について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「社会心理学」を「社会・集団・家族心理学」に名称変更。
- ・専任教授 谷向みつえについて、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理学実践領域実習Ⅱ※」を「心理演習Ⅱ※」に名称変更のうえ、担当教員を専任教授 櫻井秀雄に変更。
- ・専任教授 谷向みつえについて、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習 I ※」を「心理演習 I ※」に名称変更のうえ、公認心理師演習案習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任教授 谷向みつえについて、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任准教授 久保信代について、兼担准教授 一村小百合の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」を担当科目に追加。
- ・専任准教授 久保信代について、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習 1 ※」を「心理演習 1 ※」に名称変更のうえ、公認心理師漢置実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ·専任准教授 久保信代について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任准教授 多田(鈴木)美書里について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「心理学基礎実験実習 I ※、II ※」を「心理学実験 I ※、II ※」に、「心理統計法II」を「心理学統計法 II」に名称変更。
- ·専任准教授 木村志保について、教育指導上の教員配置見直しに伴い「研究演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」を担当科目より削除。現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・専任准教授 木村志保について、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習I※」を「心理演習I※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任准教授 木村志保について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任講師 宿谷(金児)仁美について、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習I※」を「心理演習I※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・専任講師 宿谷(金児)仁美について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- 専任講師 竹橋洋毅が准教授に昇任。
- 専任准教授 竹橋洋毅について、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理アセスメント実習Ⅱ※」を「心理的アセスメントⅡ※」に名称変更のうえ、担当教員を専任教授 栗村 (佐野)昭子に変更。 - 専任准教授 竹橋洋毅について、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い、「心理学実践領域実習Ⅱ※」を「心理演習Ⅱ※」に名称変更のうえ、担当教員を専任講師 津田恭充に変更。
- -・専任権教授 竹橋洋教について、公認心理師受験資格対応に伴い、「心理学実践領域実習 I※」を「心理演習 I※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当教員を専任講師 津田恭先に
- 変更。 ・専任准教授 竹橋洋毅について、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い「心理アセスメント実習I※」を「心理的アセスメントI※」に名称変更のうえ、担当科目に追加。
- ・専任講師 津田恭充について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「カウンセリング論」を「心理学的支援法」に、「心理アセスメント実習I※」を「心理的アセスメントI※」に名称変更。

- ・専任講師 津田恭充について、公認心理師受験資格対応に伴い「心理学実践領域実習 1※」を「心理演習 1※」に名称変更のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- 専任講師 津田恭充について、公認心理師受験資格対応及び教育指導上の教員配置見直しに伴い「心理学実践領域実習Ⅱ※」を「心理演習Ⅱ※」に名称変更のうえ、担当科目に追加。
- 専任講師 津田恭充について、公認心理師受験資格対応のため「心理実習」を新設のうえ、公認心理師演習実習担当教員要件に基づき担当科目に追加。
- ・兼担教授 遠藤洋二の就任辞退に伴い、「社会福祉行財政論」の担当者を兼任講師 今井慶宗に変更。
- ・兼担教授 齋藤千鶴について、兼担教授 安井理夫の就任辞退に伴い「コミュニティワーク」を担当科目に追加。
- ・兼任講師 杉本敏夫の就任辞退に伴い、「社会福祉援助技術総論 I、Ⅱ」の担当者を兼担教授 安井理夫に変更。
- ・兼担教授 津田耕一の就任辞退に伴い、「障害者福祉論 I」の担当者を兼担准教授 柿木志津江に変更。
- ・兼担教授 林龍平について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「学習心理学」を「学習・言語心理学」に名称変更。
- ・兼担教授 水鳥正二郎について、兼任講師 大又巧也の就任辞退に伴い「コンピュータサイエンス」を担当科目に追加。
- ・兼担教授 安井理夫の就任辞退に伴い、「社会福祉原論Ⅰ、Ⅱ」の担当者を兼担准教授 家高将明に変更。
- ・兼担教授 安井理夫の就任辞退に伴い、「コミュニティワーク」の担当者を兼担教授 齋藤千鶴に変更。
- ・兼担教授 安井理夫について、兼任講師 杉本敏夫の就任辞退に伴い「社会福祉援助技術総論Ⅰ、Ⅱ」を担当科目に追加。
- ・兼相教授 山内彰について、全学共涌で授業を運営するため、「革語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」を相当科目より削除。現員で対応可能なため後仟補帝なし。
- ・兼担教授 山口美和について、兼担准教授 家高将明の就任辞退に伴い「キャリアデザイン※」を担当科目に追加。
- ・兼担准教授 池上微の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼担准教授 加藤友野に変更。
- ・兼担准教授 一村小百合の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を専任准教授 久保信代に変更。
- ・兼担准教授 木村貴彦が教授に昇任。
- 兼担准教授 治部哲也が教授に昇任。
- ・兼担教授 治部哲也について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「生理心理学」を「神経・生理心理学」に名称変更。
- ・兼担准教授 鈴木真の退職に伴い、「哲学」、「倫理学」の担当者を兼担准教授 久保田祐歌に変更及び「キャリアデザイン※」を担当科目より削除。現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・兼担准教授 立花直樹の退職に伴い、「基礎ゼミナールI、I」、「キャリアデザイン※」の担当者を兼担准教授 久保田祐歌に変更。
- ・兼扣准教授 寶田(上杉)玲子の就任廷退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼担謹師 三田村知子に変更。
- ・兼担准教授 松本明美が教授に昇任。
- ・兼担准教授 家高将明の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールI、II」の担当者を兼担講師 間井谷容代に変更。
- ・兼担准教授 家高将明の就任辞退に伴い、「キャリアデザイン※」の担当者を兼担教授 山口美和に変更。
- ・兼担准教授 家高将明について、兼担教授 安井理夫の就任辞退に伴い「社会福祉原論 I、II」を担当科目に追加。
- ・兼担准教授 小口将典の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールI、Ⅱ」の担当者を兼担教授 伊藤利明に変更及び「キャリアデザイン※」を担当科目より削除。現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・兼担准教授 柿木志津江の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼担教授 藤岡弘季に変更。
- ・兼担准教授 柿木志津江について、兼担教授 津田耕一の就任辞退に伴い「障害者福祉論Ⅰ」を担当科目に追加。
- ・兼担助教 塩津裕康の退職に伴い、「基礎ゼミナールI、II」の担当者を兼担講師 北岡かおりに変更。
- ·兼担講師 津吉哲士について、兼担准教授 松村歌子の就任辞退に伴い「基礎ゼミナールI、II」を担当科目に追加。
- ・兼担准教授 松村歌子の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールI、II」の担当者を兼担講師 津吉哲士に変更。
- ・兼担講師 森尚彫の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナール I、 II」の担当者を兼担助教 有末伊織に変更。
- ・兼担講師 由利禄巳の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールI、II」の担当者を兼担講師 酒井希代江に変更。
- ・兼担助教 砂川耕作について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールI、II」の担当教員に追加。
 ・兼任講師 大又巧也の就任辞退に伴い、「コンピュータサイエンス」の担当者を兼担教授 水島正二郎に変更。
- ・兼任講師 加納光子の就任辞退に伴い、「精神保健学I、II」の担当者を兼任講師 金文美に変更。
- ・兼任講師 林美恵子について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「心理学基礎実験実習 I ※、I ※」を「心理学実験 I ※、I ※」に名称変更。
- ・兼任講師 佐伯(豊田)恵里奈について、公認心理師受験資格対応のため担当科目「心理学基礎実験実習 I ※、I ※」を「心理学実験 I ※、I ※」に名称変更。
- ・兼任講師 谷寿夫の就任辞退及び公認心理師受験資格対応のため「社会福祉学」を「福祉心理学」に名称変更のうえ、担当者を兼任講師 鴻上圭太に変更。
- ・「関係行政論」について、公認心理師受験資格対応のため新設。開講までに後任補充予定。

【平成31年度】

- (注)・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の事任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略 となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10	5
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

	Ē	役置時の計画	■			現在(報	告書提出時)の状況		現在	(報告書提	出時)の完	成年度時の	計画
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	教 授	准教授	講師	助教	計 (C)
10	2	2	0	14	10	4	2	0	16	10	4	2	0	16
(10)	(2)	(2)	(0)	(14)						[0]	[2]	[0]	[0]	[2]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「現在(報告書提出時)の状況」に記入した数字に、数員審査を受審済みであり、
 完成年度までに就任する数員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齡構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	3
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

 - (2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C) = <u>16</u> 設置時の計画(A) = 14

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = $\frac{3}{16}$ = 18.75

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予	定科目	後任補充	状況		就任	壬辞退	(未就	任)の理由		
			必修	基礎ゼミナ-	−ルⅢ	1								
			選択	学校心理学		1								
			選択	児童心理学		1								
			必修	心理アセスメ	ント実習Ⅱ※	1								
-1	准教授	渡部(神谷) 敦子	必修	心理学実践領	類域実習Ⅱ※	1		平原	t27年9月14日1	寸で一身.	上の都	8合により退職	届提出	(28)
			必修	研究演習 I		1								
			必修	研究演習 Ⅱ		1								
			必修	研究演習Ⅲ		1								
			必修	研究演習Ⅳ		1								
		合言	† (D)					往	後任補充状況	の集計	(E))		
į	就任を辞	退した教員数	担当科目数の合	計 (a) + ((b) + (c)	①の合計	十数 (a)		②の合計	十数 (b)		③の合計	上数 (c))
			必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	1	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退 (未就任) の理由」に就任辞退の理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞任等	の理由		
1			【該当なし】											
			合	計 (F)					後	後任補充状況	の集計(の	à)		
	辞	任し	た教員数	担当科目数の合	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a)		②の合計	十数 (b)	③の合詞	計数(c	;)
				必修	0	科目	必修		科目	必修	科	□ 必修		科目
				選択	0	科目	選択		科目	選択	科	Ⅱ 選択		科目
		0	人	自由	0	科目	自由		科目	自由	科	目 自由		科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0 科	目計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、<u>定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について</u>に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)				i	後任補	前充状況の集	計(E) +	(G)			
辞任等した教	員数	担当科目数の合	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a))	②の合計	数 (b))	③の合	計数	(c))
		必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目	必修		0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	-	0	科目
1	, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由		0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目	計		0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A)	=	1 =	7.14	%
(Z)一(Z)改直呼の計画(A)		14		

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞任等	の理由	
1			【該当なし】										
				合計					<u> </u>	後任補充物	犬況の集計		
	辞	任し	た教員数	担当科目数の合	·計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a)		②の合計	十数 (b)	③の合詞	計数 (c)
				必修	0	科目	必修		科目	必修	彩	□ 必修	科目
		_		選択	0	科目	選択		科目	選択	彩	選択	科目
		0	人	自由	0	科目	自由		科目	自由	彩	目 自由	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0 ≉	目計	0 科目

- (注) ・ <u>定年により退職した全ての専任教員</u>について</u>に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合,赤字にて記入するとともに,「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成27年9月14日付で渡部(神谷) 敦子准教授が退職届を提出したことに伴い、直ちに公募を通じて後任補充を行ったので、教育研究活動に支障は生じていない。なお、渡部(神谷) 敦子准教授の担当は2年前期以降の開講科目であり、平成28年度の科目担当者配置及び学生に対する影響はない。 (28)

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	等	履行状況		未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年4月)	完成年度前に、定年規程に、定年間では、定年間では、定年間では、定年間では、定年ののでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できない。というでは、できない。というでは、できない。というでは、できないがいいいがいいいいがいが、できないがいいいいがいが、できないがいいいがいいいいいがいがいいいがいいいいいがいいいいいいいいいいいいい	留意事項	退にと位勘後募動績を構堅に性(授件後職、を、案任、等、確成・入を上渡い行はら当時る、スう、の業任年の発表を出ていた。 一、大学のでは、のが、のが、のが、ののでは、では、では、ののでは、ののでは、ののでは、の	履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし				
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	該当なし				

- (注)・「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の 寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を()</u> 書きで付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、 **全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では,履行途中であれば「未履行」,履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入して ください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<心理科学部 心理科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時	の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
		公認心理師法の施行(平成29年9月15日)に伴い、学部生の 進路選択の幅を広げるため、設置計画を担保しつつカリ キュラムの一部を改訂し、公認心理師国家試験受験資格取 得要件に対応した。具体的には、同法及び同法施行規則の 定めに応じ、開講科目名称の変更及び開講科目の追加(3科 目)を行った。(30) 【別紙1一①】【別紙1一②】【別紙1一③】

- (注) 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

F D委員会 (平成18年度~) ※平成23年度より授業評価委員会 (平成18年度~) を統合した。【別紙2】

SD委員会(平成26年度~)※平成29年度より教員も構成員となった。【別紙3】

b 委員会の開催状況

FD委員会は全4回開催した。

SD委員会は全1回開催した。その他ワーキンググループで別途検討がなされた。

c 委員会の審議事項等

FD委員会は、FD活動の推進、授業改善の方策、授業評価、教員の研修計画立案・実施などに関連する事項を取り扱う。

SD委員会は、SDの企画立案及び実施に関する事項、職場内外の研修に関する事項、その他SDに関する事項を取り扱う。

② 実施状況

- a 実施内容
- 1. FD委員会
- (1) 学科の特徴や問題点を踏まえたFD活動の目標設定と実施
- (2) 自己点検表による授業の自己分析の実施
- (3) 兼任講師の教育活動表彰に関すること
- 2. IR・FD・アドミッション推進室(旧、教育開発支援センター) 【別紙4】
- (1) 授業アンケートの実施
- (2) 教員研修会の計画・実施
- (3) 学外 F D 研修会への参加奨励 (参加費・交通費の補助)
- 3. SD委員会
- (1) 財務勉強会の実施
- b 実施方法
- 1. FD委員会:学科毎のFD活動の取組み報告と、授業の自己分析実施の企画と遂行。授業アンケート結果より兼任教員の顕彰検討。
- 2. IR・FD・アドミッション推進室:全教職員(主に専任)を対象に全学的なFDに関するプログラムを 企画し実施する。
- 3. SD委員会:全職員及び教員(主に専任)を対象に研修会を企画し実行する。

- c 開催状況(教員の参加状況含む)
- FD委員会
- (1) 学科で当該年度におけるFD活動計画を立案し第2回委員会でその内容を報告。第3回委員会での中間報告、
- その後、最終結果として活動内容と成果を報告書にまとめ、全教員へ公開した。 (2) 専任教員において、担当1科目を対象として秋学期授業アンケート結果を参考に自己点検表を作成し、その プロセスを通じて授業改善・振り返りを行う。
- (3) 6学科のFD活動の計画書でPDF冊子を作成し、学内の各種会議で報告を行った。 また、活動の報告書はPDF冊子を作成した。
- 2. IR・FD・アドミッション推進室(旧、教育開発支援センター)
- (1) 秋学期の授業アンケートの実施計画を立案し実施した。
- (2) 4月初めには教学方針の変更に関する研修会を行い、136名が参加した。併せて新任教員10名に対して教学に ついて別途研修会を実施した。
- (3) 退学率抑制を焦点においたエンロールメントマネジメントをテーマに教員研修会を実施し、118名が参加した。
- (4) 月に1回程度の頻度で専任教員向けに学内情報共有システム(サイボウズ)により学外研修会の案内を発信し、 延べ10名の教員が参加した。
- 3. SD委員会
- (1) 専任教職員を対象に財務勉強会を実施し、参加者の内41名が教員であった。 本学の財務状況についての報告が法人本部より行われ、経営的視点をより深める機会となった。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD委員会では、学生の授業アンケート結果をふまえた自己点検表による授業の振り返りを行い、改善へつなげ るプログラムを推進している。また、学科におけるFD活動の目標設定と実施を通じて、組織的な活動が展開で きている。

IR・FD・アドミッション推進室では、教員の自己啓発に資する取組みとして重要と考えるテーマで研修会を 開催している。

また、学生による授業アンケートを実施し、授業改善のための資料のひとつとして教員にフィードバックしてい

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

授業アンケートを秋学期(11/14~1/15)に全623科目を対象に実施した。

b 教員や学生への公開状況, 方法等

アンケートを実施した全524科目の個人別・科目別結果は、担当教員が自ら確認し、授業内でフィードバックに努め

- (注) 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 自己点検・評価等に関する事項
- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

【別紙5】

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期

本学では、「自己点検・評価委員会」(以下「委員会」)を設置している。「大学自己点検・評価規程」により 原則として、3年ごとに本学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備等の状況について、全学的な自己点 検・評価を実施している。全学的な自己点検・評価は、日本高等教育評価機構の定める基準を準用することとし、 その結果は、学内教職員に共有するとともに、大学ホームページ上に公表している。

平成27年度は認証評価機関(日本高等教育評価機構)を受審しており、評価結果とともに報告書全文を平成28年4月 にホームページ上で公表した

なお、当該対象学部を含む自己点検・評価については、上記規程に基づき平成31年度に実施する予定である。

b 公表方法

従来より自己点検・評価結果は、全教職員で情報を共有すると共に大学ホームページ上でも公表している。当該 対象学部を含む自己点検・評価結果は、報告書を刊行するとともに平成32年5月頃に大学ホームページ上での公表を 予定している。

③ 認証評価を受ける計画

平成34年度までに認証評価機関(日本高等教育評価機構(予定))の評価を受ける予定である。

- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
 - また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告書				
а	ホームページに公表(予定)の有無	(有	無)
b	公表(予定)有の場合の公表(予定)時期	(平成 30 年 8 月	1 日)

- (注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
 - ・ 「b 公表(予定) 有の場合の公表(予定) 時期」には、「a ホームページに公表(予定) 有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。